

No.	重点項目	部局(H27)	所管課(H27)	取組内容	5年間の総括	達成度	外部評価	外部評価コメント	外部評価者
1	①	総務部	行政課	「附属機関の設置及び運営の基準に関する要綱」に基づく市民の市政への参画機会の拡大を推進	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員公募の状況を調査（公募可能な附属機関等の把握）</li> <li>・公募委員選任の手引の作成</li> <li>・無作為抽出による委員公募の実施と啓発</li> </ul> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <p>附属機関等における公募委員の必要性や具体的方法をマニュアルなどで示すことで、一昨年までの4年間で公募委員数が8名、公募委員のいる附属機関数が5機関増加したが、昨年度は委員数は8名の減、機関数は6機関の減で、結果5年間で拡大するに至らなかった。</p> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <p>附属機関等における専門性や法規定などにより、全ての機関で公募委員を選任することは困難であるが、公募を阻害している課題を分析し対応可能な機関に対して直接働きかけをしていく。また、市民の市政参画の観点から公募以外の方法でも広く市民の意見を反映させる手段を検討する。</p> <p>以上のとおり、公募委員の一定の拡大が図れた年もあったが、結果的に拡大に繋がらなかったため、達成度をDとした。</p>	D	要検討	<p>（委員1）要検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の意識を向上することは容易ではなく、地道な努力をコツコツと続けることが重要である。</li> </ul> <p>（委員2）要検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最終的に増えない結果で終わってしまったのは残念です。今後は無作為抽出で選任という手段にも耐えられるような市民の市政参画への意識のレベルアップも同時進行で取り組めるとよい。</li> </ul>	石原・大久保
2	①	文化市民部	市民協働推進課	市民の市政への参画機会を拡大するため、新たな参画手法により懇談会などを開催	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな手法として無作為抽出による公募を実施。</li> <li>・無作為抽出の手法を紹介するマニュアルの作成。</li> </ul> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・無作為抽出での公募により、市民に対し市政に参加できる機会があることを周知。（無作為抽出件数1,500件）</li> <li>・無作為抽出からの応募者による委員の委嘱。</li> </ul> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発行したマニュアルの活用による他部署への拡大。</li> </ul> <p>以上のとおり、新たな手法により市民の市政への参画機会を拡大したため、達成度をBとした。</p>	B	要検討	<p>（委員1）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・担当部署記入の内容に沿って引き続き取り組むこと。</li> </ul> <p>（委員2）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・無作為抽出という手法を用いて選任することは意義があるが、結果として応募が少ないままで5年間推移しているため、この手法に耐え得る市民レベルの向上を側面から図るべきと考える。</li> </ul>	石原・大久保
3	①	こども未来部	こども未来館	子育て支援の充実を図るため、こども未来館の「ここにごサークル」のボランティアの育成と活動の活性化を支援	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <p>地域での子育て支援を充実を図るため、ここにごサークルの継続的な開設に努めた。</p> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <p>平成27年度末 36サークル開設</p> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <p>今後は既存サークルの開催回数の増加や内容の充実を目指すとともに、地元から要望がある地域での新規開設を目指す。</p> <p>以上のとおり、計画をほぼ達成したため、達成度をBとした。</p>	B	妥当	<p>（委員1）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サークル新規開設後のアウトカムについて分析を行い今後の展開方針を定める必要はないか？</li> </ul> <p>（委員2）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援という観点においてここにごサークルを開設することのメリットは何か。スルーされないように積極的にアピールしないとなかなか情報が届かず、サークル開設まで到らない地域もあろう。地元からの要望+掘り起こしも重要と考える。</li> </ul>	石原・大久保
4	①	環境部	環境政策課	市民とともにごみ減量や地球温暖化対策に取り組むため、市民意識の醸成と家庭での自発的な取組を促進	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の環境意識を高めるための出前講座実施</li> <li>・幼児、小学生への環境に対する意識の植え付け</li> </ul> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児から大人まで幅広く環境の大切さを周知することで、環境イベント・環境講座への参加者が増えた。</li> </ul> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・更なるごみ減量を進めるため、市民への普及啓発が必要である。</li> </ul> <p>以上のとおり、環境へ取り組むきっかけづくりができたため、達成度をBとした。</p>	B	妥当	<p>（委員1）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中長期の目線で市民に確実に浸透するような現状の取り組みが最も効果的と判断する。</li> </ul> <p>（委員2）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・啓発事業としては評価できる。しかし、環境保全意識と現実のごみ減量意識が必ずしも繋がっていない。意識向上がごみ減量に直結するような方策が必要と考える。</li> </ul>	石原・大久保

No.	重点項目	部局(H27)	所管課(H27)	取組内容	5年間の総括	達成度	外部評価	外部評価コメント	外部評価者
5	①	産業部	農業支援課	遊休農地の解消と樹園地の再編を図るため、市民の主体的な運営組織づくりを支援	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】 当初はオーナー園の開設を目指していたが、事業化を目指す地主は現れず、また、抜本的な解決策にはならないとの考えから、26年度より生産者の収益向上に主眼を置いた産地強化策に取り組んだ。</p> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】 平成26年に豊橋で次郎柿が初収穫されてから100周年を迎え、各種の記念行事に生産者が一体となって取り組む機会が得られたことで、産地としての問題意識を共有して連携を深める契機となった。 このことは、今後も全国有数の柿の産地であり続けるうえで、生産者の意欲と意識の向上に寄与し、収益性を高めるための積極的な取り組みを促すことに繋がると思われる。</p> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】 生産者人口の減少や高齢化は避けられないことから、今後は収穫などの省力化を図る低樹高栽培の普及や共同利用施設の効率的運用などを行う必要がある。 以上のとおり、遊休農地の減少には長期的な取組が必要なため、達成度をDとした。</p>	D	要検討	<p>(委員1) ・遊休地を市民の健康づくりや、コミュニケーションの場所とするなど、別の発想で進展がかなわないかを検討してほしい。</p> <p>(委員2) ・まだまだ緒についたばかり。新たな可能性を探ることで夢も広がる。ここはめげずに頑張ろう。</p>	石原・大久保
6	①	建設部	建築指導課	市民の生命や財産を守るため、自主的な耐震化の取組を支援するとともに耐震化に関する市民意識の醸成	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】 広報紙、ケーブルテレビ、ラジオ放送、出前講座等により住宅の耐震化の必要性及び、住宅耐震化啓発用パンフレットの全戸配布や補助制度対象者へのダイレクトメールの送付により耐震化を支援する補助制度の周知を実施</p> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】 目標額に達する年度が少なかった。 目標棟数（累計） 耐震診断 2,335棟、耐震改修 535棟、解体 220棟 達成実績棟数（累計） 耐震診断 1,803棟、耐震改修 413棟、解体 189棟</p> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】 「豊橋市建築物耐震改修促進計画」にて平成32年度までに住宅の耐震化率を95%とする目標を掲げているため、より一層の耐震化の施策が求められる。 以上のとおり、目標棟数に対して実績棟数が下回ったため達成度をDとした。</p>	D	要検討	<p>(委員1) ・現状の取り組みを確実に進展させることが重要である。</p> <p>(委員2) ・耐震改修率が上がらない理由はなぜか上乗せ補助金を利用してはなお、お金の問題であれば一部屋だけ補強してそこに逃げ込むシェルター造成では難しいか。棟→部屋へ変更することで、まずは生命の安全を確保することが大切と考える。</p>	石原・大久保
7	①	建設部	建築指導課	市民の健康と生活環境を守るため、吹付けアスベストに関する自主的な健康障害予防や生活環境保全の取組を支援	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】 吹付けアスベストの分析調査事業及び除去等事業に要する経費に係る補助制度の運用 アスベスト対策の必要性啓発、及び、補助制度の周知</p> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】 周知に毎年努めてはいるが、分析調査が目標棟数に達することができなかった 目標棟数（累計） 分析調査40棟 除去等5棟 達成実績棟数（累計） 分析調査10棟 除去等3棟</p> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】 アスベストに関する報道の縮小等とともに、アスベスト対策の必要性啓発が、本市に限らず全国的な課題となっている中で、本市建築物に対する対策が進むよう、より効果的な啓発方法を模索する。 以上のとおり、補助実績としては目標に達しなかったため、達成度をDとした。</p>	D	要検討	<p>(委員1) ・市民の健康に甚大な影響を及ぼす事業であり、市民への啓蒙は必要であるが、行政主導でリードするという発想も必要ではないだろうか。</p> <p>(委員2) ・安易に目標数値を下げて数合わせをするのは不適切。アスベストがよく使われていた年代に建てられたものを中心に調べを進めて疑わしい建造物のリストを作るべきではないか。本気で取り組むなら建物カルテを作って一つずつ、つぶしていくと良い。少なくとも待っているだけで進まない状況から少しでも進展すると考える。</p>	石原・大久保
8	①	消防本部	消防救急課	市民自らが救命講習の指導者となるため、応急手当指導員や応急手当普及員を育成	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】 応急手当の必要性を呼び掛け、講習会開催時期を大きなイベントに重ならないように設定し、さらに開催日時を対象事業所等と調整を図った。</p> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】 5年間の目標値（300名）は達成し、救命率向上に一定の効果が図られた。 救急現場における重篤の傷病者に対するバイスタンダーCPR実施率は、平成18年度13.1%、平成23年度19.5%、平成27年度24.5%の成果を挙げている。</p> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】 指導員主体による各種救命講習の実現。 以上のとおり、目標達成のための各種取り組みを実施することができたため、達成度をBとした。</p>	B	妥当	<p>(委員1) ・より積極的な広報や参加者への粗品提供など、あの手この手で参加者を増やすという発想が必要である。</p> <p>(委員2) ・数値目標を達成する年度が交互ということと普及員において消防団の人数が減少気味なのが気がかりである。ここをテコ入れして行こう。</p>	石原・大久保
9	①	総合動植物公園部	自然史博物館	自然史博物館の活性化を図るため、館内展示等の案内、解説や資料整理に協力できる市民ボランティアを育成	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】 ・募集案内にあたって、新聞、広報とよはし、HPのほか、館内での活動状況の展示紹介を実施。 ・ボランティアとしての資質の向上のため、学習会等の研修を実施。</p> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】 この5年間で登録者数は、53名から71名と目標を超えているだけでなく、ボランティアガイドツアーを毎週土・日曜日に各2回実施し、標本製作においても迅速かつ正確な作業が可能となるなど活動の内容が拡充した。</p> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】 登録者募集にあたって、若い年齢層のボランティア活動の参加により博物館の更なる活性化を図る。 以上のとおり、ボランティアの登録数及びその活動が拡充したため、達成度をAとした。</p>	A	妥当	<p>(委員2) ・順調に活動者を増やすことができています。若い年齢層のボランティア活動参加者の拡充を図ってより内容を充実させていって下さい。</p>	石原・大久保

No.	重点項目	部局(H27)	所管課(H27)	取組内容	5年間の総括	達成度	外部評価	外部評価コメント	外部評価者
10	②	文化市民部	市民協働推進課	さまざまな分野の地域人材育成講座の開催により地域人材を育成	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな分野のまちづくり関係者を対象とした地域人材育成講座を開催。</li> </ul> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域人材育成講座の開催。（H23：2講座、H24：2講座、H25：3講座、H26：4講座、H27：5講座 合計16講座 受講者計 2,958人）</li> </ul> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域人材育成講座の内容充実。</li> <li>・市職員向けに視察型などより実践的な研修の実施。</li> </ul> <p>以上のとおり、さまざまな手法の講座開催により地域人材育成に取り組んだため、達成度をBとした。</p>	B	妥当	<p>（委員1）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地方創生においても住民を含めた人材育成は非常に重要である。育成する人材像を明確にして、誰がその人材育成を担うかなどを、ネクストステップとして検討してはどうか。</li> </ul> <p>（委員2）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人材育成ということであれば実践型が効果的と考える。自治会役員向けの講座で人数が減少したのはなぜか。理由の検証が必要である。テーマは毎年変えてもよいのではないかと考える。</li> </ul>	石原・大久保
11	②	文化市民部	市民協働推進課	地域の身近な課題に共に取り組むため、「住みよい暮らしづくり計画」の参加校区の拡大と体制づくりを支援	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくり出前講座等による住みよい暮らしづくり計画作成への参加校区の拡大につなげるPR。</li> <li>・市民協働推進課職員がアドバイザーとなり計画づくりをサポートした。</li> </ul> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくり出前講座等やチラシ配布によるPRにより、住みよい暮らしづくり計画の新規作成に参加する校区を拡大することができた。</li> <li>・テーマ特化型など、地域のニーズに合わせた新たな形のまちづくり計画の作成に取り組むことができた。</li> </ul> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・先行的に取組む校区の成功事例をさまざまな手法で積極的にPRし、新たな地域での自発的な住みよい暮らしづくり計画作成の取組みにつなげる。</li> <li>・市職員がアドバイザーとなり計画づくりをサポートする体制の充実。</li> </ul> <p>以上のとおり、参加校区拡大のためのさまざまな取組みを実施した結果、新規参加校区があったものの目標の19校区までは達しなかったため、達成度Dとした。</p>	D	要検討	<p>（委員1）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加校数の拡大に加えて、既存の参加校区における成果（アウトカム）を分析するなどして、事業の有用性を一層明確にすべきではないか。</li> </ul> <p>（委員2）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・そもそも「住みよい暮らしづくり」というテーマが曖昧で、何のための事業なのか分かりづらい。それぞれの年代で求める「住みよさ」の方向は異なることが参加が伸び悩む一因と考える。防災、健康などと異なり、このタイトルでは何でも有りになってしまうので、具体的なテーマを絞るべきと考える。</li> </ul>	石原・大久保
12	②	文化市民部	多文化共生・国際課	日本人と外国人が共生する地域づくりを目指し、地域団体等と多文化共生モデル地区事業を実施	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人情報窓口による情報提供</li> <li>・自治会参加啓発チラシ等を母語で配布</li> <li>・外国人のニーズの高い、防災訓練を集住地区で実施</li> </ul> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <p>23年度の自治会加入率と比較すると、25年度と26年度はそれぞれ7.7%、1.8%の増加となった。27年度の外国人地域イベント率は50%と目標を上回ることができた。</p> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <p>外部委員の意見にもあるように、参加率を向上させるためには、外国人市民に対しての情報提供だけでなく、日本人の自治会役員に向けた啓発・協力を得ていく必要がある。</p> <p>以上のとおり、平成27年度のみ外国人市民の地域のイベント参加率は50%を上回ったが、他年度は目標値を下回ったため、達成度をDとした。</p>	D	要検討	<p>（委員1）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クレアの多文化共生部などとも連携し、事業の展開に外部からのアドバイスを求めているどうか。</li> </ul> <p>（委員2）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安易に目標数値を上げ下げすることは無意味であり、コミュニティ成立のための必要な数値を割り出して設定すべきと思う。災害対策、ゴミ減量など、身近なイベントで必ず参加して欲しいものから取り組むことがよいと考える。</li> </ul>	石原・大久保
13	②	文化市民部	多文化共生・国際課	外国人児童の日本語の学習支援として、地域団体等とプレスクール事業やアフタースクール事業を実施	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人集住地域やブラジル人託児所の外国人児童を対象にアフタースクール事業やプレスクール事業を実施。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの方に参加してもらうため、チラシの配布や保護者向け説明会を実施。</li> </ul> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プレスクールで毎年10名以上の児童の支援ができた。</li> <li>・アフタースクールでは年8校以上の支援ができた。</li> </ul> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちが参加しやすい環境を整えるため、参加の機会を広げる方策を検討する。</li> </ul> <p>以上のとおり、外国人児童が学習できる機会の充実が図られたため、達成度をBとした。</p>	B	要検討	<p>（委員1）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人と日本の児童双方がスポーツやイベント等の交流を通じて人間関係を形成することが重要であり、子供目線で事業を一層効果的に推進すべきである。</li> </ul> <p>（委員2）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在日ブラジル人の数が減少している影響もあり、アフタースクール実施校が減っていると推察する。しかし、事業としてのニーズは高いと考えるので、必要な人が、一人でもいる所では確実に実施してほしい。「効率的」だけではない次世代につながる対応を望む。</li> </ul>	石原・大久保

No.	重点項目	部局(H27)	所管課(H27)	取組内容	5年間の総括	達成度	外部評価	外部評価コメント	外部評価者
14	②	福祉部	長寿介護課	ひとり暮らし世帯等への見守り及び買物支援などを行う高齢者安心生活サポート事業の拡充	【主な取組(目標を達成するために取り組んだこと)】 幅広い年代の方の目に留まるよう、養成講座の周知を広報誌掲載から小中高PTAや市民館へのチラシ配布へと広げ、ボランティア活動に関心の高い健康づくりリーダーには個別に案内送るなど工夫をした。 【5年間の成果(可能な限り客観的な数値を記入)】 全26回の講座を実施し、サポーター数を50名から126名へと増加させた。また、委託料を248,000円削減した。 【今後に向けた(次期プランへの)課題】 貴重な人的資源として、登録後に活動の機会がない方についても高齢者安心生活サポート事業のほか地域での活動等が可能となるよう、活動に幅を持たせることが必要である。また、サポーターを市内に偏りなく養成できるよう、講座の開催会場を工夫する必要がある。 以上のとおり取り組んだが、サポーター数が目標に達しなかったため、達成度をDとした。	D	要検討	(委員1) ・介護保険との関係を整理するなどして、本事業の意味を再度明確にし、見直しを図るべきである。  (委員2) ・「一人暮らし」世帯では範囲が広すぎます。少なくとも対象は、一人では動けないような生活困窮者に絞って下さい。今は有償ボランティアなので、無償にするか有償なら受益者負担にするべきと考えます。次の15番の事業と一緒にするのが良いかと感じています。	石原・大久保
15	②	福祉部	福祉政策課	支え合いや助け合いの地域福祉を推進するため、担い手の育成とボランティア活動等の取組を促進	【主な取組(目標を達成するために取り組んだこと)】 ボランティア活動を推進するため、ホームページの内容見直しなど啓発活動の充実及び講座の開催など計画的に実施した。 【5年間の成果(可能な限り客観的な数値を記入)】 計画的にボランティア活動推進に取り組んだ結果、福祉ボランティア登録人数が目標値25,520人を上回る25,994人となった。 【今後に向けた(次期プランへの)課題】 地域福祉の裾野を広げ、また、継続的、安定的にボランティア活動が実施できるよう、若年者層に対する福祉教育及び啓発活動を充実する。 以上のとおり、目標値を上回る福祉ボランティア登録人数となったことから、達成度をBとした。	B	要検討	(委員1) ・成果は上がっているが、非常に漠然とした事業であり、より事業の必要性を明確にして、新展開を図るべきではないか。  (委員2) ・No14,15の事業は統合できるのではないだろうか。No15の登録者が必要に応じてNo14の講座も受講すれば対応できる。同じ福祉部の事業であり、独立してする必要はないと考える。	石原・大久保
16	②	こども未来部	保育課	保育環境整備のため、保護者等との協働による保育所や幼稚園の園庭芝生化を促進	【主な取組(目標を達成するために取り組んだこと)】 芝生化による効果等のPRをし、園庭芝生化を実施した。また、芝生を植える際は保護者、地元団体等に協力をしていただき交流を深めた。 【5年間の成果(可能な限り客観的な数値を記入)】 平成23年度から27年度予定を含めて8園の園庭芝生化を推進することができた。 【今後に向けた(次期プランへの)課題】 新たに園庭芝生化を希望する園はほとんどないが、こちらからも引き続きPRを続けていく。 以上のとおり、毎年園庭芝生化を推進し、実施した園は芝生の育成状態も良好であるため、達成度をBとした。	B	要検討	(委員1) ・他の事業と集約して組み立てたほうが良いのではないか？一つの事業として評価対象とすることに違和感がある。  (委員2) ・現在、希望する園もなく、期限もなく、増やすことも目標でないなら、少々不思議な事業である。全園導入は目標とはならないのか。	石原・大久保
17	②	健康部	健康増進課	地域コミュニティの主体的な健康づくり活動の活性化を図るため、健康のまちづくり事業への参加校区の拡大とプランづくりを支援	【主な取組(目標を達成するために取り組んだこと)】 ・校区の健康情報を活用し、校区自治会・既存の健康づくり活動団体や豊橋いきいき健康マップ作成グループ等への活動参加の呼び掛けを実施した。 【5年間の成果(可能な限り客観的な数値を記入)】 ・市内全51自治会への活動参加呼び掛けにより、16校区が健康のまちづくり事業に取り組んだ。 【今後に向けた(次期プランへの)課題】 ・健康づくり活動の中心的な担い手が校区自治会である場合、校区自治会の体制により継続的な活動が困難となる場合があった。 ・今後は地域で継続的に健康づくり活動に取り組むことができるキーパーソンの発掘が必要である。 以上のとおり、目標を達成することができたため、達成度をBとした。	B	要検討	(委員1) ・25年度の委員1と同じ  (委員2) ・健康診断の数値を利用して不健康な校区に対して勧めてはどうか。数値の改善が明確であり、やる気につながる。校区単位で導入すること自体は健康づくりの手法としてとそぐわないような気もするが、事業として続けば国保事業の改善にもメリットは大と考える。	石原・大久保
18	②	環境部	環境政策課 環境保全課	地域とともに生活環境や自然環境の保全及びごみ減量に取り組むため、530運動など地域の主体的な環境活動の活性化を支援	【主な取組(目標を達成するために取り組んだこと)】 ・イベント開催経費の継続的な削減等の実施 ・イベントの内容の見直し ・530運動の地域ブランド化に向けた取り組み 【5年間の成果(可能な限り客観的な数値を記入)】 ・梅田川ふれあいクリーン作戦のイベント開催経費の削減を継続的に実施し、5年間の累計額は目標を上回り、かつ、毎年度の参加者人数は、1,500人を維持することができた。(27年度：悪天候のため中止) 【今後に向けた(次期プランへの)課題】 ・今後もイベントなどの内容を見直す中で、市民、企業、行政が連携して環境保全活動に取り組むことが必要である。 ・市民参加については伸び悩んでいるので、環境意識の更なる高揚を図り、参加意欲を高める必要がある。 以上のとおり、最終目標額を達成したので、達成度をBとした。	B	妥当	(委員1) 妥当  (委員2) 妥当 ・経費削減の目標値達成は評価できる。全体の事業費の規模を示してもらえると効果が一目瞭然になるので判断し易い。	石原・大久保

No.	重点項目	部局(H27)	所管課(H27)	取組内容	5年間の総括	達成度	外部評価	外部評価コメント	外部評価者
19	②	産業部	農地整備課	市有ため池の外來魚駆除を地元団体等の理解と連携を図りながら推進	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <p>(1) ため池の施設点検調査及び改修工事による池干しと併せ駆除を実施</p> <p>(2) ため池利用者や地元自治会等との協働により駆除を実施</p> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <p>駆除池数 19池</p> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <p>特になし</p> <p>以上のとおり、目標を達成したため、達成度をBとした。</p>	B	妥当	<p>(委員1)</p> <p>・ 今後はため池は保全に止まらず、ため池利用者や地元自治会等の企画、協働により、これまでの取り組みを一步進めた有効利用も図るとよいと思われる。</p> <p>(委員2)</p> <p>・ 取り組み開始年度は、目標を達成することが出来なかった。しかしながら、外部評価コメントも参考にした改善努力と新たな取り組みにより、次年度より目標達成が可能となり、かつ継続していることは評価される。</p> <p>・ 関連部課との積極的な連携形成は、役所内の縦割りを見直す観点から行革という本取組のミッションにふさわしい。</p>	諏訪・功刀
20	②	都市計画部	都市交通課	地域の公共交通環境充実のため、コミュニティバス運行に向けた地域の主体的な取組を支援	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <p>「地域生活」バス・タクシーの運行を行っていた地域では、地域運営団体と協働で運行内容の検証やそれを踏まえた事業計画の変更案の策定、利用促進策の実施等に取り組んだ。また、新たに運行を開始した地域に対しては、地域運営団体の設立に対する支援を行うとともに、地域運営団体と協働で事業計画の策定や利用促進策の実施等に取り組んだ。</p> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <p>「地域生活」バス・タクシーの運行地区は3地区から7地区（見込み）に増加し、運行地区の住民の移動手段を確保することができた。</p> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <p>「地域生活」バス・タクシー実施要綱に規定する、実証運行から本格運行への移行基準又は本格運行の継続基準を達成するよう地域運営団体と協働で利用促進等の取組を継続することが必要である。</p> <p>以上のとおり、目標を上回る地区で運行を実施したので、達成度をAとした。</p>	A	妥当	<p>(委員1)</p> <p>・ 目標を上回る地区で運行を実施した。今後はさらなる利用促進策を講じ利用者の増加に努め、この事業の所期の目的を達成すること。さらに、地域の足の確保のためのコミュニティバス運行に止まらず、これを機に、地域の「社会力」を一層引き出し、住民が主人公となった住民自治の地域コミュニティが根付き、地域で支えあふ風土を醸成することが望まれる。、福祉などの幅広い分野において活用すべき絶好の機会と思う。</p> <p>(委員2)</p> <p>・ 5年間で目標を上回る地区での運行を開始できた実績は評価できる。しかし、現状での実証運行から本格運行に移行するに伴い、運営主体となる地域運営団体の事業運営基盤や継続運営環境等を中長期的視点で可能な限り具体的に検討する必要がある。</p>	諏訪・功刀
21	②	都市計画部	公園緑地課	地域とともに緑地や身近な公園環境の保全に取り組むため、地域の主体的な体制づくりや取組を支援	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 試行要綱の作成</li> <li>・ 試行により制度の見直し及び要綱の修正</li> <li>・ 事業のPR</li> </ul> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <p>自治会公園管理委託、公園アダプト制度を実施することができ、取組箇所数も目標値を達成できた。</p> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 取組箇所数の増加、継続的な活動となるための現状検証、分析を行う必要がある。</li> </ul> <p>以上のとおり、目標の120%を上回ったため、達成度をAとした。</p>	A	妥当	<p>(委員1)</p> <p>・ はじめて導入した事業だから、25年度と26年度の自治会公園管理委託（累計20箇所）、公園アダプト制度（累計27箇所）の問題点を洗い出し、今後に繋げること。</p> <p>(委員2)</p> <p>・ 基礎固めから始め、着実なデータ蓄積に基づき実績を重ね、目標を上回る成果を得たことは、達成度および実施プロセスも評価に値する。今後は、事業継続に必要な分析が中長期的観点から必要であろう。</p>	諏訪・功刀
22	②	こども未来部	こども家庭課	若者の就労対策やひきこもり対策を推進するため、NPO法人との協働による取組を推進	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <p>平成23年の設置から、相談件数は右肩上がりに伸びており、社会的自立に向けて相談後の支援充実が急務の課題となったため、相談窓口の体制強化及び業務委託による民間支援団体の活用を図ってきた。</p> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <p>設置当初から、形態を変えているため一概に比較できない状況ではあるが、社会的自立件数についても増加がみられ一定の成果が果たされている。</p> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <p>引き続き業務委託による民間支援団体の活用を行い、相談窓口についても更なる業務委託により困難な子ども・若者及びその家族への支援を充実し、関係機関との円滑な連携を継続させていく必要がある。</p> <p>以上のとおり、一定の成果が得られたため、達成度をAとした。</p>	A	妥当	<p>(委員1)</p> <p>・ 今後はより一層クライアントの立場に立って相談の質を高めるよう努められたい。</p>	諏訪・功刀

No.	重点項目	部局(H27)	所管課(H27)	取組内容	5年間の総括	達成度	外部評価	外部評価コメント	外部評価者
23	②	教育部	生涯学習課	青少年の薬物乱用防止や子どもの暴力防止・人権尊重を推進するため、NPO法人との協働による取組を推進	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】 NPO等市民団体と協働で子ども・若者への健全な成長のためワークショップや講座を中心とした啓発を行った。</p> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】 いじめ防止、薬物乱用防止の啓発につとめ、約4,000人を対象にワークショップや講演会を実施した。</p> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】 次期プランの掲載予定なし</p> <p>以上のとおり、計画通り2年で完了した事業のため、達成度をBとした。</p>	B	要検討	<p>（委員1） ・全国的に深刻化し、喫緊の課題となっているので、今後はワークショップ、講演に止まることなく、一歩踏み込んだ実践的な対策が必要と思われるが検討されたい。</p> <p>（委員2） ・当該取組の効果目標には、薬物乱用やいじめ件数の減少が挙げられている。しかし、事業終了理由としては、多数の関連機関とのネットワーク形成が達成された旨が挙げられている。当初掲げた効果目標は短期間での達成困難な内容であることは認識できるが、組織形成はあくまでも目標達成の手法である。事業総括としては、取り組んだ内容のみならず、今後の展開に必要な分析内容も記載すべきである。</p>	諏訪・功刀
24	③	企画部	シティプロモーション推進室	市民、事業者、行政が一体となった「オール豊橋」の体制づくり	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】 シティプロモーション活動に関する情報収集を積極的に行いながら、官民での効果的な事業実施に向けた情報提供や事業提案を行なった。 また、官民協働の組織「ええじゃないか豊橋推進会議」内において委員から効果的な手法・情報についてアドバイスをもらいながらシティプロモーション活動を進めた。</p> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】 官民協働により、合計140件の事業を実施することができた。</p> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】 官民での効果的な事業実施をさらに拡大していくため、シティプロモーション活動に関する情報収集や情報提供を積極的に行う。</p> <p>以上のとおり、目標達成のため、達成度をBとした。</p>	B	妥当	<p>（委員1） ・これまで一定の成果を上げてきたが、さらなる推進のためには、手法を含めた工夫が求められる。</p> <p>（委員2） ・目標数値設定の根拠が不明ではあるが（おそらく初年度の達成値を基準としているのであろう）、着実に目標が達成されていることは評価できる。しかし、5年間の総括としては、官民協働組織である「ええじゃないか豊橋推進会議」とシティプロモーション推進室との機能的で円滑な協働体制の維持継続、ならびに関連部課とのさらなる連携体制構築等に関しても展望すべきであろう。</p>	諏訪・功刀
25	③	企画部	シティプロモーション推進室	民間と連携した取組強化を図る仕組みづくり	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】 補助制度や事業認定制度をつくり、民間のシティプロモーション活動を応援した。また、補助金、認定事業を新たな層にPRするためにHPやSNSを活用したPRを行うと同時に、対象となりえる団体等に積極的にPRした。</p> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】 補助金では18団体を、認定事業では20団体を支援することで、民間のシティプロモーション活動を推進した。</p> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】 民間のシティプロモーション活動を推進するための手法について検討し改善を行う。</p> <p>以上のとおり、目標未達成のため、達成度をDとした。</p>	D	要検討	<p>（委員1） ・手法の抜本的見直しが必要である。</p> <p>（委員2） ・本取組の目標は、事業実施・推進の仕組みづくりといった組織構築であるにもかかわらず、取組期間中、それらに関する現状分析や自己評価は一度もなされていない。とりえず補助金と認定事業を推進しようとの意図が推察されるが、採択すべき事業内容がNo.24の取組と明確に区別されていないため、応募時に混乱が生じているのではないかと。事業の具体的な内容を周知徹底するとともに、実施母体組織内での事業に対する理解と共通認識を再確認し、今後の進め方等改善策を検討すべきであろう。</p>	諏訪・功刀

No.	重点項目	部局(H27)	所管課(H27)	取組内容	5年間の総括	達成度	外部評価	外部評価コメント	外部評価者
26	③	企画部	シティプロモーション推進室	「アイラブとよはし運動」の推進による市民への情報発信と市民の愛着意識の醸成	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <p>ふるさと再発見ツアーや、各種講座などにより、市民に豊橋の魅力について再発見してもらった。また、若者層に対して、ええじゃないか豊橋伝播隊DOEEやSNS等を活用した市の魅力のPRを行った。</p> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <p>市民の豊橋市に対する愛着度について、少しずつであるが79%（平成23年度）から80%（平成27年度）へ上昇した。</p> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <p>愛着度の低い若者層に対してのPR手法について検討し改善する。 以上のとおり、おおむね達成しているため、達成度をBとした。</p>	B	妥当	<p>（委員1）</p> <p>・「豊橋市に住み続けたい」という市民が愛着する都市魅力とは何かという基本的なことを全庁的な共通認識のもとで再確認し、それに見合ったふさわしい取り組みとして、若者層には彼らが創造する新しい企画による魅力づくりを、またそれ以外の層には伝統の魅力を繰り返し継続することである。蛇足ながら意見として、タイトルの「市民の愛着度の向上」は大きすぎると思う。私見であるが、市民が抱く都市魅力は、何はともあれ第一に市民生活が安定した施策が行われていることである。</p> <p>（委員2）</p> <p>・DOEEの起用により、20代での愛着度が増加したが一過性であった理由を分析し、今後の展開に生かす必要がある。また、若年層の愛着度増加については、取組の過程に子供たちをどのように巻き込んで行くか等の検討が不可欠であろう。</p>	諏訪・功刀
27	③	産業部	農業企画課	豊橋産農産物のブランド化を促進するため、「農産物ブランド化のためのプロモーション計画」の策定と推進	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農産物ブランド化のためのプロモーション計画の策定</li> <li>・首都圏における広告宣伝（交通広告、野菜ソムリエ協会）の実施および豊橋フェアの連動開催</li> </ul> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <p>各種のプロモーション活動により、本市農産物の認知度は一定高まった。（平成27年度の活動回数：57回）</p> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブランド化には継続的な長期に渡る取組みが不可欠であり、引き続き効果的なプロモーション活動を進める必要がある。</li> <li>・認知度の向上や消費拡大が生産者利益の向上に繋がるような取組みが必要とされている。</li> </ul> <p>以上のとおり一定の目標は達成されたものの、ブランド化の実現には引き続き継続的な取組みが必要であるため、達成度をBとした。</p>	B	妥当	<p>（委員1）</p> <p>・相手があることなので、消費者の側に立った種々の方策を常に試行し、ニーズの変化に対応しつつ、積極的に、活動的に、長期的に継続していくこと。</p> <p>（委員2）</p> <p>・どのような状況をブランド化と定義するか不明ではあるが、継続した着実な活動が必要であることは明らかである。この5年間、活動地域や内容を比較的絞っていたが、今後の展開として見直しがなされても良いのではないか。</p>	諏訪・功刀
28	③	産業部	観光振興課	観光資源の魅力とPRの促進に向けて豊橋観光コンベンション協会等との連携強化	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊橋まつりの新たな展開と充実</li> <li>・豊橋観光コンベンション協会と連携した広域的なプロモーション活動</li> </ul> <p>【5年間の成果】</p> <p>豊橋まつりについて、第60回記念大会に向けてイベント内容の充実を図ることができた。また、天候に左右されない屋内イベントを構築し実施した。炎の祭典については、国内だけでなく海外も視野に入れた誘客活動を実施することができた。観光コンベンション協会と連携したプロモーション活動により、広域的な展開を図る事ができた。</p> <p>【今後に向けた課題】</p> <p>イベント内容の更なる充実や天候に左右されないイベントの構築などを行う必要がある。国内だけでなく海外からの誘客も視野に入れたプロモーション活動が必要である。以上のとおり、天候による影響が大きいことから達成度をDとした。</p>	D	要検討	<p>（委員1）</p> <p>・壁に当たっているようであるので、手法を再検討する必要がある。</p> <p>（委員2）</p> <p>・野外イベントが天候に左右されることは当然であり、現状のように年間集客数の大半を2大イベントに依存している限り、集客数の確実な増加は困難である。集客可能なイベントの多様化と、「東三河の広域的な展開」と記載している手法の具体化として、他地域の観光資源も組み込んだ広域観光の展開が早急に検討されるべきであろう。</p>	諏訪・功刀
29	③	産業部	観光振興課	首都圏活動や市内でのイベント開催など協働によるプロモーション活動の仕組みづくりと推進	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・効果的な物産展・手筒花火の放場場所の検討・実施</li> <li>・トヨッキーの知名度を全国区にする成長戦略を実施</li> </ul> <p>【5年間の成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・物産展においては、定点・定期的に本市観光PRを行った結果、固定客の増加に繋がった。</li> <li>・首都圏等での手筒花火放場においては、年々観覧数が増加しており「手筒花火発祥の地 豊橋」として知名度が上がった。</li> <li>・トヨッキーの成長戦略においては、東海三県の地元キャラ48体で人気を競う「JIMOキャラ総選挙」でトヨッキーが優勝し、豊橋市の大きなPR効果に繋がった。</li> </ul> <p>【今後に向けた課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・効果的な物産展・手筒花火の放場場所の検討・実施</li> <li>・国内だけでなく海外からの誘客も視野に入れたプロモーション活動を実施。</li> </ul> <p>以上のとおり、効果的なプロモーション活動を実施し、豊橋市の知名度向上にもつながったことから達成度をBとした。</p>	B	妥当	<p>（委員1）</p> <p>・このまま進めればよい。但し、この29の市外での活動の目標達成と25の民間団体のブランド認定や助成制度の目標未達成とが結びつかない。この原因を解明することが必要であると思われる。</p> <p>（委員2）</p> <p>・過去5年間のプロモーション活動内容と成果実績をできる限り具体的に可視化・分析することにより、有効な活動手法を構築することが今後のさらなる展開に望まれる。</p>	諏訪・功刀

No.	重点項目	部局(H27)	所管課(H27)	取組内容	5年間の総括	達成度	外部評価	外部評価コメント	外部評価者
30	③	産業部	みなと振興課	新たな市民参画手法による三河港の認知度の向上	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>告知方法の検討…「広報とよはし」や地方紙を活用。</li> <li>応募方法の簡素化…往復はがきだけでなく、来館者が応募用紙に記入して応募するなど</li> </ul> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>みなとふれあい体験イベントを実施し、5年間で延12,769人余りの方の参加があり、三河港の認知度の向上が図れた。</li> </ul> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>従来のイベント実施だけでなく、媒体をとおした三河港のPRを行い、認知度の向上だけでなく、重要性を理解してもらう。</li> <li>SNSを活用した情報提供の充実を行う。</li> </ul> <p>以上のとおり、イベント参加により三河港の認知度の向上が図られたため、達成度をBとした。</p>	B	妥当	<p>（委員2）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>5年間の活動実績より、感覚的には三河港の認知度上昇が感じられるが、評価としては客観的なデータが望まれる。イベント参加者数以外で認知度の指標となる数値の検討が、今後の展開に必要であろう。</li> </ul>	諏訪・功刀
31	③	都市計画部	都市交通課	LRT都市サミットの誘致に向けて、とよはし市電を愛する会、商工会議所などと連携した取組	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>他都市で開催されたLRT都市サミットに参加し、取組み事例等について関係都市との情報交換</li> <li>他都市で開催されたLRT都市サミットにおいて、参加都市展示ブースで手筒花火、動植物公園、豊橋カレーうどんなどのポスターを活用したシティープロモーション活動</li> <li>豊橋市へのLRT都市サミットの招致活動</li> </ul> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>豊橋市で開催したLRT都市サミットでは約700名の来場者があり、関連イベントを含めると全体で約6,000名の参加者があった。また、当日の様相をユーストリームによるライブ配信をしたところ約300のアクセスがあった。このことからLRTの良さ、本市のLRT化への取組み、本市の様々な魅力などを全国へ発信し、PRすることができたと考え。</li> </ul> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>より魅力ある市電にするための維持、活性化への取組みや、市電を活かしたシティープロモーションの手法検討</li> </ul> <p>以上のとおり、計画通りLRT都市サミットを招致し、市電の走るまち「とよはし」の魅力を全国へ発信することができたため、達成度をBとした。</p>	B	妥当	<p>（委員1）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>豊橋市の「市電」は今やこの地方では有名であり、誇りうるものであるため、有効活用をした広がりのある展開を期待する。</li> </ul> <p>（委員2）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>LRT都市サミット誘致という具体的な目標は達成された。また、サミット参加者数などから、豊橋の魅力が全国に発信できたと内部評価されているが、ユーストリームのアクセスが300から判断して、もともと関心を持つ人々への情報発信に終始しているようにも見受けられる。</li> </ul>	諏訪・功刀
32	③	総合動植物公園部	動植物公園自然史博物館	総合動植物公園、自然史博物館と周辺の社会教育施設との連携による「のんほいパーク100万人プロジェクト」の仕組みづくり	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>従来のキャラクターショーなど人気イベントの開催に加えて、セウヰガドツアやエサやり体験、「アンモナイトのレプリカづくり」など新規の体験型イベントの開催により一層の集客促進に努めた。</li> <li>また、鉄道や高速道路サービスエリアを活用した広告掲載や静岡方面への遠足誘致活動など、効果的、効率的なPR活動に努めた。</li> </ul> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>天候不順による落ち込み等により年間入園者数はなかなか目標値に達しなかったが、イベントの拡充や効果的なPR活動など毎年新たな取組みによる集客促進に努めたことにより、27年度には目標を達成することが出来た。</li> </ul> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今後本格的に進むリニューアル事業の進捗に合わせ、新規施設のお披露目式等タイムリーなイベント開催と効果的なPR活動による集客促進に取り組む。</li> </ul> <p>以上のとおり、目標達成は最終年度のみであるが、集客促進のための着実な取組による効果を考慮し達成度をBとした。</p>	B	妥当	<p>（委員1）妥当</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>27年度に目標が達成され、その努力は評価に値する。子ども達をはじめ年齢層に関係なく、豊橋市民はもとより、市外の人々からも愛され、憩う場として、今以上に、一層夢のあるのんほいパークとなることを期待する。</li> </ul> <p>（委員2）妥当</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>最終年度は目標値を達成できたが、5年間にわたっては、各年の目標数値は必ずしも達成できていない。しかしながら、イベント内容は詳細に検討し実施している努力は、評価されるべきである。天候等の自然要因に左右されず、集客数の増加を目指す活動が継続することを期待する。</li> </ul>	諏訪・功刀
33	④	財務部	資産経営課	指定管理者制度の新たな導入施設の検討と指定管理者制度の適切な運用管理	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>行財政改革プランに位置付けられている施設（市営住宅、公園）への指定管理者制度の新規導入に係る庁内会議（指定管理者運営審査会議）等の開催、指定管理者制度導入施設の適正なモニタリング</li> </ul> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理者制度の新たな導入施設の検討では、行財政改革プランに位置付けられている施設のうち、市営住宅に指定管理者制度を新規導入することができた。また、新規取得施設である商家「駒屋」についても、その管理運営に指定管理者制度を導入した。また、指定管理者制度の適切な運用管理では、平成24年度（平成23年度分）よりモニタリングの結果を公表することにより、指定管理業務の透明性が確保、一層の市民サービス向上に結びつくものとなった。</li> </ul> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>行財政改革プランに位置付けられていたが、指定管理者制度導入を見送った施設（公園）を始めとする既存施設などに対する制度導入を引き続き検討する必要がある。併せて、制度導入済みの施設について、適正な施設運営管理を維持し、また、サービスの一層の充実を図るため、指定管理者の運営管理に係る課題の洗い出しや改善等の指定管理者制度有効活用への取組みが必要である。</li> </ul> <p>以上のとおり、一定の目標を達成できたことから、達成度をBとした。</p>	B	妥当	<p>（委員1）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今後この制度の良さを生かした取り組みをより進めて欲しい。但し、この制度の問題点もあるようであるので、常に検証すること。</li> </ul> <p>（委員2）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理制度の機能や利点を市民に公表しつつ、制度導入施設を拡大する方針は評価に値する。今後も、制度の周知を図りつつサービスの向上や制度導入の拡充を期待する。</li> </ul>	諏訪・功刀

No.	重点項目	部局(H27)	所管課(H27)	取組内容	5年間の総括	達成度	外部評価	外部評価コメント	外部評価者
34	④	文化市民部	文化課	芸術文化交流施設のPFI手法による施設の供用開始	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】 PFI事業の内容について、専門的な知識のある業者にモニタリングを依頼するとともに、PFI事業者と細部にわたり打合せをすることにより、要求水準書の内容及び提案内容に沿った設計・建設工事の確認。</p> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】 要求水準書の内容及び提案内容に沿った建設工事が実施され、平成25年4月30日に供用を開始した。</p> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】 以上のとおり、目標通り要求水準書の内容及び提案内容に沿った建設工事が実施されたため、達成度をBとした。</p>	B	妥当	<p>（委員1） ・PFI事業者のモラルハザードが起らないように、供用開始後の内容を常にチェックすること。</p> <p>（委員2） ・本取組の過程においては、設定目標に沿って事業が進行・完了したことが評価される。今後は、当初目標である効率的・効果的な施設運営が期待される。</p>	諏訪・功刀
35	④	文化市民部	文化課 市民協働推進課	既存の指定管理者制度導入施設の効率的・効果的な運営の見直し	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】 ・施設・設備情報収集（建物、工事履歴等に関すること）を実施した。（文化課、市民協働推進課） ・芸術文化交流施設（穂の国とよはし芸術劇場）の開館に伴い、市の文化施設の見直しを図り、平成25年3月31日をもって駅前文化ホールを閉館した。（文化課） ・地域へのアンケート調査及び検証等を実施した。（市民協働推進課）</p> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】 ・駅前文化ホールの閉館に伴う効果額152,517千円（文化課） ・前芝校区市民館における有料使用制の導入。（市民協働推進課）</p> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】 ・市の施設保全計画と連動した修繕等の実施と市民文化会館の在り方の検討。（文化課） ・校区市民館の設置目的である「地域住民のコミュニティ活動拠点」における利用拡充のための無料利用対象者見直しの検討。（市民協働推進課）</p> <p>以上のとおり、既存の指定管理者制度導入施設の効率的・効果的な運営の見直しを実施できたことから、達成度をBとした。</p>	B	妥当	<p>（委員1） ・継続事業で指定管理者が変わって、これまで働いていた職員を引き継ぐ場合、給与が減収になるなど、引き継ぎ職員へのしわ寄せが懸念されているなど指定管理者制度は利点ばかりではなく、問題点もあるので、常にチェックすること。</p> <p>（委員2） ・取組対象施設の効率的・効果的な運営を実施するに当たり、まずは利用者の利便性向上を目的としたアンケート調査を実施し、その結果を参考にしつつ目標達成に取り組み成果を挙げた実績は評価できる。今後も、利用者の意見や利便性を勘案しつつ、従来の制度や概念、慣習（公共施設の利用料は無料とすべき等）にとらわれることなく行革に取り組みられることを期待する。</p>	諏訪・功刀
36-1	④	福祉部	福祉政策課 長寿介護課 障害福祉課	既存の指定管理者制度導入施設の効率的・効果的な運営の見直し	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】 福祉部所管の15施設について、指定管理者の更新に当たって、自主事業の増加などの内容の見直しを行った。</p> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】 福祉部所管の15施設において、指定管理内容を見直したことにより、効率的・効果的な運営とすることができた。</p> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】 —</p> <p>以上のとおり、計画通り目標を達成したため、達成度をBとした。</p>	B	妥当		伊藤・富田
36-2	④	こども未来部	こども未来館	既存の指定管理者制度導入施設の効率的・効果的な運営の見直し	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】 平成24年8月からのこども未来館及び交通児童館の指定管理者選定作業を実施した。また、決定後、指定管理者と協議しながら効率的・効果的な施設運営に努めた。</p> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】 こども未来館及び交通児童館2館について、指定管理者選定作業を実施し、最も効率的・効果的な運営を行う指定管理者を選定した。</p> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】 平成28年度の次期指定管理者の選定作業に向け、さらなる効率化を図るための検討を実施する。</p> <p>以上のとおり、当初の目標を達成したため、達成度をBとした。</p>	B	妥当		伊藤・富田
37	④	こども未来部	こども未来政策課	授乳やおむつ替えができる「赤ちゃんの駅」の民間協力店舗の拡大	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】 赤ちゃんの駅の拡大のため、ホームページなどでの周知や個別の募集活動を行った。また26年度から開始した子育て応援企業の募集の中でも登録店舗拡大に努めた。</p> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】 上記働きかけの結果、当初目標を大きく上回る64店舗が登録している。</p> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】 赤ちゃんを連れた保護者が出かけやすい街づくりのため、さらに協力店舗を募っていく。</p> <p>以上のとおり、目標値を上回っているため、達成度をAとした。</p>	A	妥当		伊藤・富田

No.	重点項目	部局(H27)	所管課(H27)	取組内容	5年間の総括	達成度	外部評価	外部評価コメント	外部評価者
38	④	健康部	健康政策課	既存の指定管理者制度導入施設の効率的・効果的な運営の見直し	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <p>1 運営協議会、月例報告会の開催 施設改善検討会の開催 モニタリング結果の公表</p> <p>2 医師の確保 診療時間の短縮 医療機器の更新</p> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <p>1 モニタリングや年度点検などを通じて建設の不具合を是正した。施設の利便性の向上のため施設改善検討会を設置し、行事案内ボードの設置や館内サインの充実など市民サービスの向上を図ることができた。また、施設改善につながるよう、利用者アンケートを実施した。</p> <p>2 小児科医師の高齢化や小児科患者の増加による1次救急医療体制の疲弊に対応するため、診療時間を2時間短縮した。市民サービスの大幅な低下とならないよう、十分な周知とともに専任看護師の配置や市民病院との連携など安定した医療体制の提供に努めた。このため、利用者には安定した医療を提供することができた。また、ワンタッチコールシステムの導入により、混雑時における車内待機が可能となり、患者の負担軽減を図ることができた。</p> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <p>1 施設改善に利用者アンケートによる意見を反映するなど、利用者目線での改善に努める。施設維持においては、長期修繕計画により平成26年度から修繕が実施されている。PFI事業者とともに効果的な長期修繕計画の実施に努める必要がある。</p> <p>2 今後も老朽化した機器の更新を計画的に行っていく必要がある。</p> <p>以上のとおり、施設改善体制等の構築や効果的な改善実施、安定した医療の提供などにより市民サービスの向上が図られたため、達成度をAとした。</p>	A	妥当		伊藤・富田
39	④	環境部	業務課	ごみ収集業務の民間委託の拡大	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <p>市民サービスの低下とならないように、日々の作業状況の監視やごみステーションの実地調査など監督指導と研修を継続して行い、また収集業務内容についてもアンケート調査を実施した。</p> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <p>ごみ収集経費の削減と市民サービスの維持について、一定の成果を達成することができた。</p> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <p>経費の削減のみならず、民間活力を生かして市民サービスを向上させる業務となるような仕様書及び発注方法の検討。</p> <p>以上のとおり、ごみ収集経費の削減と市民サービスの維持に努めることができたと考えるため、達成度をAとした。</p>	A	妥当	(委員1) ・ごみの指定袋化に伴い、次期プランへの課題を着実に検討していただきたい。	伊藤・富田
40	④	産業部	農業支援課 商工業振興課	市民ふれあい農園の維持管理など民間活力導入可能性を検討	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商工業従業員永年勤続褒章事業について、事業の見直しを行い、郵送料及び消耗品費を削減した。</li> <li>・開業支援事業について、商工会議所へ事業を移行した。</li> <li>・市民ふれあい農園について、当初は多米1園で、栽培講習会の開催を含めた管理業務をNPOに委託をしたが、受託者の負担が大きく委託化の継続・拡大には結びつかなかった。このため、業務内容を見直して民間への委託化を図った。</li> </ul> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商工業従業員永年勤続褒章事業及び開業支援事業の見直しにより、2,551,071円の削減効果額を達成した。</li> <li>・業務内容を見直した結果、すべての市民ふれあい農園で民間への委託化を図ることができた。</li> </ul> <p>以上のとおり、目標である民間活力の導入が完了するとともに、目標額120%を上回る額を達成したため達成度をAとした。</p>	A	妥当		伊藤・富田
41	④	産業部	商工業振興課 農業企画課	既存の指定管理者制度導入施設の効率的・効果的な運営の見直し	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職業訓練センターはPR効果により、固定した利用団体が増えた。</li> <li>・水の展示館は指定管理者や広報とよはしのPRによりイベント参加者が増えた。</li> </ul> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職業訓練センターについては、緊急雇用創出事業により、当初から目標をはるかに上回っていたが、緊急雇用終了後においても、設定目標を上回ったため、数値目標の設定を変更した。</li> <li>・水の展示館は全体の来館者数は目標を達成できなかったが、イベント参加人数は目標を上回ることができた。</li> </ul> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職業訓練センターは目的をもった施設であるため、貸室などの利用回数を目標とするのは違和感がある。</li> <li>・水の展示館は施設の老朽化により来場者数が伸び悩んでいたが、これを廃止し、小学校への訪問授業など施設に頼らない啓発を行っていく。</li> </ul> <p>以上のとおり、目標回数は達成したため、達成度をBとした。</p>	B	要検討	(委員1) ・次期プランへの課題で、貸室の利用回数を目標としないなら、どのような目標が考えられるのか、若しくは目標を廃止するのか方針を明確にしてください。	伊藤・富田

No.	重点項目	部局(H27)	所管課(H27)	取組内容	5年間の総括	達成度	外部評価	外部評価コメント	外部評価者
42	④	産業部	商工業振興課	次世代ものづくり人材の育成と事業者が参画しやすい環境づくり	【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】 ・PRの強化及び応募対象者の拡大等によはしの匠及び高校生技術アイデア賞応募者の拡大等を図った。 【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】 ・H21年度49人に対してH27年度148件と目標を大きく上回った。 【今後に向けた（次期プランへの）課題】 ・目標は上回ったが、今後も更なる環境づくりについて検討していく必要がある。 以上のとおり、効果目標を大きく上回ったため、達成度をAとした。	A	妥当	(委員1) 妥当 (委員2) 妥当	伊藤・富田
43	④	産業部	産業政策課	環境貢献を目指す企業と連携した環境関連産業振興事業の促進	【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】 サイエンス・クリエイトを主体とする地域企業と連携して市有地での太陽光発電事業を実施した。 【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】 太陽光発電事業がH26年度に1件、H27年度に1件稼働した。また、H28年度には、新たに2件の稼働を予定している。 【今後に向けた（次期プランへの）課題】 サイエンス・クリエイトに蓄積されたノウハウを環境関連産業の振興に活かす。 以上のとおり、太陽光発電事業の推進が図られたため、達成度をBとした。	B	要検討	(委員2) ・目標値の検討が必要では？	伊藤・富田
44	④	建設部	土木管理課	道路等の維持管理などに関し、民間活力の導入可能性を検討	境界立会い職員が他の業務を推進できるように、事務の委託化に向け、その手法や委託先について調査・検討を行った。 結果として、費用対効果の面で外部へ委託するメリットを見いだすことができなかったが、委託化を視野に入れた業務見直しを行うなかで、経験豊かな再任用職員を活用した業務体制を構築し、立会までの待機日数の見直しなどを図ることができた。 当分野には専門的知識が必要となるため、業務上の知識を組織のなかで共有・継承していくとともに、境界確定の立会いにおける待ち時間の短縮など市民サービスの向上に努めていきたい。 以上、当初想定していた計画とは異なるものの委託化に代わる方針を整理することができたので達成度をBとした。	B	妥当	(委員1) 効率化の推進という目標から具体的に再任用職員との仕事の配分を検討してもらいたい。	伊藤・富田
45	④	建設部	土木管理課住宅課	既存の指定管理者制度導入施設の効率的・効果的な運営の見直しと新たな導入施設の可能性を検討	既存の指定管理者制度導入施設については、指定管理者による業務改善提案が早期に実践されるように、連絡調整会議等を通じ、進捗管理に努めた。 また、新たに市営住宅へ指定管理者制度を導入し、その結果、市が直接管理していた時と比較して年間約62,000千円の経費の削減効果があった。 今後も施設利用者の利便性向上を目的に、現場でのモニタリングや連絡調整会議を通じたモニタリングを継続し、次期指定管理期間に向け、運営上の問題点とその改善点を整理していきたい。 以上のとおり計画を達成したため達成度をBとした。	B	妥当		伊藤・富田
46-1	④	都市計画部	公園緑地課	既存の指定管理者制度導入施設の効率的・効果的な運営の見直しと新たな導入施設の可能性を検討	【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】 ・他都市、他施設の実績調査 ・関係機関との協議 【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】 当初プラン（本課が管理する物件のみ）により事業を推進しても制度の導入効果が十分発揮できないことが確認できた。 【今後に向けた（次期プランへの）課題】 公園内の運動施設を含めた指定管理を検討する中で、関係課が抱える問題も合せ解決する。 以上のとおり、公園の指定管理者制度導入のためには公園内の運動施設を含めた指定管理の検討が必要であるため達成度をDとした。	D	要検討	(委員2) ・公園管理内容の設定を具体的な維持管理とすることで指定管理者の受注が可能では	伊藤・富田
46-2	④	総合動植物公園部	動植物公園	既存の指定管理者制度導入施設の効率的・効果的な運営の見直しと新たな導入施設の可能性を検討	【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】 26年度からの指定管理者選定時に業務範囲の見直しを図り、来園者サービスの向上及び効率的・効果的な運営の観点から遊園地管理運営業務、清掃業務、売店・レストラン業務については専門業者への直接委託等に切り替えた。 【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】 指定管理業務の見直し等により経済的効果として累計69,522,800円の経費削減を実施した。 【今後に向けた（次期プランへの）課題】 定期的な管理業務の見直しにより、効率的・効果的な運営に努める。 以上のとおり、計画を超える達成となったため、達成度をAとした。	A	妥当		伊藤・富田

No.	重点項目	部局(H27)	所管課(H27)	取組内容	5年間の総括	達成度	外部評価	外部評価コメント	外部評価者
47	④	都市計画部	都市交通課	県境部や臨海部など、企業と連携した通勤手段の転換に関する社会実験の検討及び実施	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県境部において、企業・交通事業者・行政で組織する協議会を設置</li> <li>・県境部において、企業側の協力を得ながら共同通勤バスの社会実験等を実施</li> <li>・県境部において参画企業の従業員を対象にコミュニケーションアンケートを実施し、また通勤手帳やニュースレターなど動機付け情報を提供</li> </ul> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県境部において、企業・交通事業者・行政による推進体制の確立及び今後進めるべき施策をまとめた実施計画を策定することができた</li> <li>・県境部の参画企業におけるエコ通勤率が概ね向上している</li> </ul> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参画企業におけるエコ通勤施策の実施</li> </ul> <p>以上のとおり、従業員のエコ通勤に関する理解を深め、関心を高めることができ、エコ通勤率も向上したことから達成度をBとした。</p>	B	妥当		伊藤・富田
48	④	消防本部	消防救急課	救命率の向上を図るため、AED等を配置した登録事業所等（救命の駅）の拡大	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <p>AEDを設置している事業所等に呼びかけるとともに、要件を満たさない施設に対しては普通救命講習の受講を積極的に働きかけた。</p> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <p>登録事業所等（H22 76事業所等）が（H27 357事業所等）拡大し、救命率向上に一定の効果が図られた。市施設のうち、国が示す「AEDの適正配置」の考え方に基づく主な「公衆の出入りする場所」の登録を大筋で完了することができた。</p> <p>課題であった24時間対応について、平成27年度において、市街地と郊外地にすみ分けをし対応強化を図った。市街地では、消防車（8台）へAEDを常時積載することで救急車が出動中での同一管内での救命対応をできるようにする（AED積載消防車両をムービングステーションと位置付け。）とともに、消防庁舎内に設置してあるAEDを屋外設置（8消防署所）とすることで、大災害時など消防車両が出動中であっても誰も（市民）がAEDを持ち出せる体制とした。一方、郊外地では、救急車・消防車の到着に時間を要する地域（各消防署所から5分以上、3.3km以上）にあるコンビニエンスストア7店舗を指定しAEDを設置、「とよはし市民救命の駅サブステーション」と位置付け、救急隊等が到着する前の体制強化を図った。</p> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <p>事業開始当初は、登録施設数の増加に重きを置いていたが、国が示す「AED適性配置」の考え方における「公衆の出入りする場所」への登録については、一定の成果をあげることができたとともに、課題であった24時間対応強化についても、新たに「サブステーション」事業を展開したことにより、当初目標を「量・質」ともに達成できた。</p> <p>今後については、引き続き、救命講習などの機会を捉え登録を促し登録施設数の増加を図るものの、既に「公衆の出入りするような大型事業所等」に限られることから、登録施設数の増加に重きをおくことは取りやめ、市民意識調査における認知度の低さ（市民の約20%しか知らない）の是正や設置施設内の設置案内表示など、認知度・利便性のアップのための事業展開に努めていく予定である。</p> <p>以上のとおり、登録数はもとより質の向上についても目標以上の成果を上げることができた。</p>	A	妥当	(委員1) 妥当 (委員2) 妥当	伊藤・富田
49	④	教育部	保健給食課	学校給食調理業務における民間活力導入の拡大	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安定的な給食を提供するため5年間の債務負担行為にて予算措置をしたり、指名競争入札による経費の削減を図ったりした。また、契約後は四半期ごとのモニタリングや毎月の連絡会議を開催し、指導を行っている。</li> </ul> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調理業務については問題なく実施されており、食育事業にも参画している一方で、経費面では落札率が約5割という結果を得た。</li> </ul> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運営体制の安定化。ノウハウ（特に機械設備の保守等）の蓄積。</li> </ul> <p>以上のとおり、成果を上げた一方で、課題も残るため、達成度をBとした。</p>	B	妥当	(委員2) ・民間運営の特色が反映されることが望ましい	伊藤・富田

No.	重点項目	部局(H27)	所管課(H27)	取組内容	5年間の総括	達成度	外部評価	外部評価コメント	外部評価者
50	④	教育部	スポーツ課 生涯学習課	既存の指定管理者制度導入施設の効率的・効果的な運営の見直しと新たな導入施設の可能性を検討	【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】 ・指定管理者制度を導入した。 ・体育施設の利用料の適正化に向けて、運動広場の有料化に向けた検討を行った。 【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】 ・平成23年度に青少年センターで指定管理者制度を導入したことにより目標の54施設は達成され、経費削減及び民間のノウハウの活用がなされた。その後、南稜地区市民館が窓口センター及び図書館との複合施設として直営とり指定管理者制度の施設は53施設となったが、複合化による経費削減効果が高まった。 ・長年にわたり暫定施設として無料で利用されている体育施設の有料化に向けた検討が行われることになった。 【今後に向けた（次期プランへの）課題】 ・有料施設としての整備、指定管理料の見直し。 以上のとおり、取組継続中のため、達成度をDとした。	D	妥当		伊藤・富田
51	⑤	総務部	行政課	市役所「じょうほうひろば」の市民協働に関する情報提供の充実	【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】 ・市民協働推進課と協議し、協働事業の実例や市民協働補助金の案内、市民活動の紹介などをする「どすこいネット」のPRなどをじょうほうひろばで実施。 ・市民の意見を積極的に市政に取り入れるため、じょうほうひろば内にパブリックコメントのコーナーを常設した。 【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】 ・不特定多数の人が利用するじょうほうひろばにおいて、協働情報を年2回以上またパブリックコメントの情報を常時提供することで、市政や協働に関心がなかった層にも協働に関する周知と啓発ができた。 【今後に向けた（次期プランへの）課題】 ・協働意識の醸成のため、市側の情報のみでなく、市民や企業の活動情報をいかに提供していくか、情報の選択基準や提供方法等について検討し、情報提供の充実を図る必要がある。 以上のとおり、協働情報の提供を充実させ、一定の意識啓発が図れたため、達成度をBとした。	B	妥当		伊藤・富田
52	⑤	防災危機管理課	防災危機管理課	自主防災リーダーの育成	【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】 ・災害情報ステーションについては、登録拡大よりも優先して既登録事業所との情報伝達訓練を行う等、連携の強化を図った。（平成25年度まで） ・防災リーダーの育成については、養成講座の在り方を見直し、募集枠を広げ、校区推薦にとらわれず市民一人一人の意思で受講できる「一般公募」を採用した。 【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】 ・災害情報ステーションは、既に登録している事業所と市災害対策本部設置運営訓練に合わせて情報伝達訓練を行ったことで、連携強化が図られた。（平成25年度まで） ・防災リーダーの育成は、東日本大震災を契機として、これまで市民の関心が高く、順調に増加傾向にある。 【今後に向けた（次期プランへの）課題】 ・これまでは、東日本大震災の影響もあり、防災に関心の高い市民が積極的に防災リーダー育成の場に参加されてきたが、今後は比較的防災に関心の低い新たな市民を対象とした展開となる。 以上のとおり、地域防災力の主役となる防災リーダー育成数は、確実に増加傾向にあるため、達成度をBとした。	B	妥当	(委員1) ・防災リーダーの育成に、防災に関心の低い市民だけでなく、防災に関心の高い市民の参加も促していただきたい。	伊藤・富田
53	⑤	企画部	広報広聴課	多様なメディアを活用した広報活動の推進と双方向の情報発信の効率的・効果的な仕組みの充実	【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】 ・SNSの導入など、時代にあわせた多様なメディアの活用 ・ホームページのリニューアル 【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】 平成25年度まではトップページのアクセス数が順調に伸び、平成26年度以降はトップページのアクセス数は減少したものの、ページ全体のアクセス数は増加しており、情報発信力を強化できた。 【今後に向けた（次期プランへの）課題】 リニューアルによるCMSの導入のほか、SNSなどの活用によりハード面は整ってきたが、研修や指導面など、更新する職員の意識を高くするためのシステムを確立する必要がある。 以上のとおり、一定の成果を達成していると考えられるため、達成度をBとした。	B	妥当	(委員1) ・SNSを使ってさまざまな分析が可能となっているため、ホームページアクセスだけではなく、SNSに関する指標を設定してはいかがでしょうか。  (委員2) ・多様なメディアとあることから、ケーブルテレビ活用状況の記述が欲しい。	世羅・村松
54	⑤	文化市民部	市民協働推進課	地域のまちづくり拠点施設となる校区市民館の情報の受発信機能の充実	【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】 ・各校区によるホームページ開設に向けたサポート。 ・地域による情報発信の先進事例紹介。 【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】 ・各校区でホームページ開設に向けた取組みが行われた。 ・前芝校区市民館へのパソコン、インターネット整備。 【今後に向けた（次期プランへの）課題】 ・先進事例の紹介など各校区のホームページ開設に向けた取組みの拡大。 ・Facebook、twitterなど新たな手法を活用した地域情報発信の取組みの拡大。 以上のとおり、校区市民館を中心とした地域の情報発信機能の充実に取組み、各校区のホームページ開設等につなげたため、達成度をBとした。	B	妥当	(委員1) ・目標設定で行政内部の問題のように見える予算確保というものはやめたほうが良いと思います。地区ごとの啓発をされているようなので、地区ごとの利用度合いとか意識度合いなどが指標化されれば、市民としてもわかりやすいと思います。  (委員2) ・今後はより一層の各市民館の特色を発信できるよう指導を願う。	世羅・村松

No.	重点項目	部局(H27)	所管課(H27)	取組内容	5年間の総括	達成度	外部評価	外部評価コメント	外部評価者
55	⑤	文化市民部	市民協働推進課	男女共同参画の活動に関するホームページの充実	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットからのセミナー受講申込や蔵書リストの掲載など、ホームページの活用による市民・男女共同参画センター利用者の利便性向上</li> </ul> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男女共同参画推進のための多角的な取り組みを実施し、それらをホームページと関連させることにより掲載内容を充実させ、ホームページ訪問者数を平成26、27年度は3,500アクセスを上回ることができた。</li> </ul> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <p>ホームページの充実による情報の共有化をさらに進めるために、市民にとって魅力的で、かつ行政にとって効果的な事業の実施・充実が必要である。</p> <p>以上のとおり、目標達成のための各種取り組みを実施することができたため、達成度をBとした。</p>	B	妥当	<p>（委員1）妥当</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の取組指標としては、ホームページを見てイベント参加や来館されている方を把握したり、男女共同参画が推進され、市民のなかに浸透しているかという視点をもって目標設定すると、よりよい指標になると考えられます。</li> </ul> <p>（委員2）妥当</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標達成のための取組みが本来の男女協同産画にどのように反映されているのか不明。今後に期待する。</li> </ul>	世羅・村松
56	⑤	福祉部	障害福祉課	障害者施設授産製品情報に関するホームページ等の充実	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「豊橋市の障害者施設・授産製品など紹介カタログ かけはし」の作成</li> <li>・障害者就労施設からの物品調達推進に関するホームページを新たに作成。</li> <li>・障害者就労施設等の情報を随時更新していくための仕組み作り。</li> </ul> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページに障害者就労施設の情報を掲載したことで、施設利用を検討する障害者が事前に多くの情報を得ることができるようになった。</li> <li>また、各施設における授産製品を紹介しているため、授産製品のアピールする場を作ることができた。</li> <li>・ホームページの情報を随時最新のものに更新していくため、各施設のホームページのリンクを設定し、より最新で詳細な施設情報を得られるようにした。</li> <li>・市内の障害者就労施設についての情報を掲載したパンフレットを作成し窓口で配布するほか、ホームページからもダウンロードして使用ができるようにした。</li> </ul> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後もさらに積極的にホームページの運用を進め、障害者就労施設の情報周知を図り、実際に施設からの物品調達実績の向上につながることを目指す。</li> </ul> <p>以上のとおり、障害者施設授産製品情報に関するホームページの運用としてはより最新の情報を提供できるよう、新たなページの作成を行うなど、成果を残すことができたため、達成度をBとした。</p>	B	妥当	<p>（委員1）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページの運用であれば、他の取組と同様にホームページのアクセスや解析結果などを参考に目標設定してはいかがでしょうか。</li> </ul> <p>（委員2）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページの更新はポイントである。更新のための仕組みを具体化する必要がある。</li> </ul>	世羅・村松
57	⑤	こども未来部	こども未来政策課	子育て支援に関するホームページ等の充実	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <p>様々な子育て支援情報を閲覧できるポータルサイトを平成24年度に開設した。関係各課に最新情報の掲載を依頼するなど内容の充実にも努めた。また、モニターを募集し、意見を伺い、改善を行った。さらにユーザーの多いスマートフォン対応画面を平成27年11月に導入した。</p> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <p>子育て経験のある職員の意見を聞きながら平成24年度にポータルサイトを開設した。</p> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <p>子育て家庭に充実した内容を届けることにより、アクセス数の向上を目指す。</p> <p>以上のとおり、当初の目標は達成し、アクセス数も目標値を上回っていると判断できるため、達成度をAとした。</p>	A	妥当	<p>（委員1）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アクセス数のほかにアクセス解析などを行って、目標設定を行えばいいと考えます。</li> </ul> <p>（委員2）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後はアクセス数のみの目標達成と短絡的にとらえるものでないことを希望する。</li> </ul>	世羅・村松
58	⑤	環境部	環境保全課	光化学スモッグ発令に関する関係部局との連携強化と市民への迅速な情報提供の体制づくり	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・光化学スモッグ予報等発令の際、市民に迅速かつ確実に情報提供するため、関係部局との調整、連携体制を強化した。</li> <li>・広報とよはし、FMとよはしなどで周知するとともに、「豊橋ほっとメール」への登録の積極的な呼びかけを実施した。</li> <li>・私立幼稚園、保育園等へ光化学スモッグ対策（予報等発令時の注意事項、保健対策、メール配信サービスの周知・登録依頼等）について通知した。</li> </ul> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「豊橋ほっとメール」の登録者数が、当初の約5,800人から約48,000人まで増え、目標を達成できた。</li> <li>・迅速に情報提供する体制を整備したことで、光化学スモッグによる健康被害は出ていない。</li> </ul> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集客施設等において、迅速に情報提供する方法と体制作りを確立する必要がある。</li> <li>・外国人の登録が少ないため、豊橋市国際交流協会、豊橋ブラジル協会などを通して更なる呼びかけを行う必要がある。</li> </ul> <p>以上のとおり、市の関係部局への連絡体制が確立でき、「豊橋ほっとメール」の登録者数も増加し、人的被害が発生していないため、達成度をBとした。</p>	A	要検討	<p>（委員1）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・過去の評価が要検討ばかりとなっているが、最終目標値は達成できているので妥当とした。なお、目標値の設定であるが、36000人が多いのか少ないのかわかりにくいので、全人口のうち何%ぐらいが登録すれば、担当課として妥当と考えているのか、考え方を踏まえて目標設定するとわかりやすいと考えられます。</li> </ul> <p>（委員2）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の特性から光化学スモッグの発生の可能性は低いと思われる。人的被害が発生していないので”A”とすることに疑問あり。</li> </ul>	世羅・村松

No.	重点項目	部局(H27)	所管課(H27)	取組内容	5年間の総括	達成度	外部評価	外部評価コメント	外部評価者
59	⑤	産業部	農業委員会	農業委員会活動に関するホームページの充実	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】 検討会を設け、農業委員会活動のPRについて検討を行った。</p> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】 「農業委員会だより」が農業委員により更新され、農業委員会総会議事録を公表したことにより、農業委員会組織の透明性が増した。 農業委員会の各種様式を掲載し、農業後継者花嫁対策の男女交流会や結婚相談会の実施状況を掲載したことにより、農業委員会活動のPRができた。</p> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】 ホームページを日々更新し、最新の情報を公表していくことが必要である。 以上のとおり、農業委員会活動に関するホームページの充実ができたと考え、達成度をBとした。</p>	B	妥当	<p>（委員1） 数値目標が設定しづらい事業かと思いますが、目標ととらえずに、どのぐらいの件数を処理しているのか、交流会や相談会はどのぐらいの人がきているのかはわかるように、数値を意識すべきと考えます。</p>	世羅・村松
60	⑤	産業部	商工業振興課	勤労青少年ホーム活動に関するホームページの充実	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】 ・平成25年度に大幅なリニューアル（ホームページを作り直し）を行った。</p> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】 ・大幅なリニューアルの結果、平成26年度、27年度は実績が目標を大きく上回った。</p> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】 ・勤労青少年ホーム利用者の増加を図るため、今後も分かりやすい情報発信を心がける。 以上のとおり、目標を大きく上回ったため、達成度をAとした。</p>	A	妥当	<p>（委員1）妥当 ・リニューアルの内容も詳細に記述いただき、定性的な成果として記載したほうがわかりやすいと考えます。</p> <p>（委員2）妥当</p>	世羅・村松
61	⑥	文化市民部	市民協働推進課	市民活動団体を資金面で支援するための補助金や交付金制度の見直し	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】 ・アンケート調査の実施（H23,24） ・審議会の開催 ・制度の見直し（H25募集時…くすのき補助率改定、申請書類の簡素化、つつじ後期募集の制度化） （H26募集時…ハード廃止。つつじ・くすのきでハード事業ができることを要綱で明確化） （H27募集時…つつじ審査項目の見直し、くすのき事前審査での足切り廃止）</p> <p>・市内スーパー・金融機関にて募集ポスターを掲示 ・オープンスペースでPRイベントを実施</p> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】 審議会の開催（年7～8回） 応募件数はH23の32件をピークに減りつつある。H26は15件、H27は17件であった。</p> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】 今後の募集に向け利用しやすい補助制度への見直しを検討するとともに補助制度のPRを行っていく必要がある。 以上のとおり、随時見直しは行っているが、補助金の応募件数から結果がついてきていないと判断し、達成度をDとした。</p>	D	妥当	<p>（委員1） ・補助金交付金制度の全体像がよくわからないので、全体で何件あって金額がいくら出している、そのうちどのぐらいを見直しているかという視点があればわかりやすいと思います。</p>	世羅・村松
62	⑥	文化市民部	文化課	市民の多彩な芸術文化活動や創造活動に対する効果的な資金的支援	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】 参加者の拡大及び後継者育成や伝統文化の保存継承を目的とした市民の多彩な芸術文化活動や創造活動に対する資金的支援</p> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】 各団体による公演等で、多くの参加者を得ることができた。</p> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】 以上のとおり、一部の事業では参加者の減が見られるものの、全体的な事業参加者は増加しており、全体的には成果を予定通り果たすことが出来たと判断し、達成度をBとした。</p>	B	妥当	<p>（委員1） 文化芸術関係は、市民の間にどのように浸透しているかを数値化できれば望ましいです。全市民のなかでの参加率や、リピート率、実質的な参加者数（同じ人がいろんなイベントに来ていないか）などの数値が把握できればよりいいと考えます。</p>	世羅・村松
63	⑥	文化市民部	市民協働推進課	市民協働推進基金（トヨッキー基金）の新たな寄附手法の検討	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】 募金箱設置窓口を増加、補助金採択団体へ寄附の協力依頼を実施。 各種イベント、ポスター・広報誌等で基金のPR</p> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】 募金件数、募金額に波があるが、H22に比べると伸びており、市民の目にとまる機会は増えているように感じられる</p> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】 事業者アンケートを行った結果、44.5%が社会貢献の経験有と回答した。手法として「寄附」、相手先を「市」を選択してもらえるよう事業者への働きかけを行う。 以上のとおり、寄附（募金）を行える場が増えていることから、達成度をBとした。</p>	B	要検討	<p>（委員1） ・基金なのでどのぐらいを集めることを考えているのか、集めた資金をどのように活用するのかなど、基金の全体的な観点で目標設定してもいいかと思います。</p> <p>（委員2） ・募金の場所を増やすことが目標ではないはず。</p>	世羅・村松

No.	重点項目	部局(H27)	所管課(H27)	取組内容	5年間の総括	達成度	外部評価	外部評価コメント	外部評価者
64	⑥	文化市民部	市民協働推進課	協働を推進するための職員のサポート体制の強化	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民自治関係団体ネットワーク会議等の既存の枠組みを活かした市民と行政の協議の場の設定。</li> <li>・地域担当制度等の他都市における先進事例の調査。</li> </ul> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民自治関係団体ネットワーク会議等の既存の枠組みを活かした市民と行政の協議の場にて、関係課の職員も同席して意見交換を実施することができた。</li> <li>・地域担当制度等の実施について、その必要性の検討と課題の洗い出しをすることができた。</li> </ul> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民自治関係団体ネットワーク会議等の既存の枠組みのより効果的な活用。</li> <li>・本市における地域担当制度として職員が地域住民として積極的に地域活動への参加するための実践的な仕組みの検討。</li> </ul> <p>以上のとおり、市民と行政の協議の場を設定により協働の推進につなげるさまざまな取組みを実施したため、達成度をBとした。</p>	B	妥当	<p>（委員1）妥当</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協議の場を設定することにより、どのような結論が得られたのか、どのような方向性になっていくのかなど、場の設定だけではなく、将来の方向性に関するものも目標的に設定すると、よりわかりやすいと思います。</li> </ul> <p>（委員2）妥当</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域担当制度の導入は市民と市役所の協働として、地域の住民は有効と考えている。今後も期待している。</li> </ul>	世羅・村松
65	⑥	文化市民部	市民協働推進課	市民協働に関する職員研修の充実	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新入職員をはじめとした各階層への研修等の実施。</li> </ul> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員であると同時に市民であるという意識を持ち、地域の活動等に積極的に参加する意識の醸成を図るための研修を実施した。（受講者累計1,180人）</li> </ul> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実践型、体験型研修の拡大による市民協働に関する職員意識の更なる向上。</li> </ul> <p>以上のとおり、職員に対してさまざまな手法により市民協働によるまちづくりに積極的に参加する意識の醸成を行ったため、達成度をBとした。</p>	B	妥当	<p>（委員1）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的な職員の参加状況がよくわかりますが、このような研修は全職員のうち何%受講すれば良いとするのか、また、参加者の理解度合いなどを数値目標とすればよりわかりやすいと思います。</li> </ul> <p>（委員2）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員であると同時に市民でもある意識向上は市民の実情を知る上で有効である。</li> </ul>	世羅・村松
66	⑥	環境部	温暖化対策推進室	地域密着型の地球温暖化対策に取り組むため、市民、事業者との一体的な取組体制を強化	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・節電意識の定着化と実践行動を進めるため、電力需要の高まる夏季や冬季に「とよはし節電夏の陣」「とよはし節電冬の陣」として、市自らの率先的な節電の取組みや、市民・事業者への啓発に努めた。</li> <li>・太陽光発電システム設置拡大を図るため、住宅用太陽光発電システムへの助成や公共施設への設置を進める他、民間企業へ公共用地を貸付しメガソーラー発電所の設置運営を開始した。</li> </ul> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設における節電行動として、夏季には20%、冬季には10%の節電が定着した。</li> <li>・住宅用太陽光発電設置助成や公共施設等への設置を進めた結果、市町村別の太陽光発電設置件数が全国23位となった。</li> </ul> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エコファミリーの登録世帯数が順調に増えているものの、実践行動の具体化やレベルアップを図る必要がある</li> <li>・次世代自動車インフラの利便性を向上させる必要がある</li> </ul> <p>以上のとおり、順調に進捗した部分が多くあるが、改善の余地もあるため、達成度をBとした。</p>	B	妥当	<p>（委員1）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特にコメントありません。</li> </ul>	世羅・村松
67	⑥	産業部	商工業振興課	勤労青少年の自主活動に関する支援の強化	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受講者ニーズを常に意識して、講座内容を見直した。</li> </ul> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会員数は目標を達成していないが、自主的活動サークルが発足しており、取組みの成果は出ている。</li> </ul> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規受講者の開拓のための新たな周知方法</li> </ul> <p>以上のとおり、目標を達成しなかったため、達成度をDとした。</p>	D	妥当	<p>（委員1）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組み自体の抜本的な見直しが必要と考えます。</li> </ul> <p>（委員2）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・努力されていることは理解している。会員数増には広く協力を求める必要がある。</li> </ul>	世羅・村松
68	⑥	都市計画部	都市計画課	二川宿景観形成地区の住民団体との協定づくりや景観形成地区整備計画の改訂	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○住民団体の協定づくりに参加し、専門的な支援を行い、市の景観形成地区整備計画に反映させた。</li> <li>○工事に際して設計士や工事業者、施主に景観上の具体的な配慮を助言するとともに、助成制度を活用してもらうことで歴史的なまち並みに調和した建築物の増加に努めた。</li> </ul> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○これまで旧宿場町の約6.5割であった景観形成地区を約8割の範囲まで拡大することができた。</li> <li>○歴史的なまち並みに調和した建築物を大きく増加（目標値24件、実績値34件）させることができた。</li> <li>○拡大した景観形成地区において住民団体の協定づくりが進んだ。</li> </ul> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○景観形成地区を旧宿場町全体へ広げていくために、地域住民への意識啓発や既存団体へのさらなる支援が必要である。</li> </ul> <p>以上のとおり、目標を大きく達成したため、達成度をAとした。</p>	A	妥当	<p>（委員1）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ほぼまちなみ形成も完了間際と考えられますが、全体計画のなかで何割くらい進捗しているのかという視点が目標にあればわかりやすいと思います。</li> </ul>	世羅・村松

No.	重点項目	部局(H27)	所管課(H27)	取組内容	5年間の総括	達成度	外部評価	外部評価コメント	外部評価者
69	⑥	都市計画部	都市交通課	コミュニティバス運行に対する効果的な支援	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】 「地域生活」バス・タクシーの運行を行っていた地域では、地域運営団体と協働で運行内容の検証やそれを踏まえた事業計画の変更案の策定、利用促進策の実施等に取り組んだ。また、新たに運行を開始した地域に対しては、地域運営団体の設立に対する支援を行うとともに、地域運営団体と協働で事業計画の策定や利用促進策の実施等に取り組んだ。</p> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】 「地域生活」バス・タクシーの運行地区は3地区から7地区（見込み）に増加し、運行地区の住民の移動手段を確保することができた。</p> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】 「地域生活」バス・タクシー実施要綱に規定する、実証運行から本格運行への移行基準又は本格運行の継続基準を達成するよう地域運営団体と協働で利用促進等の取組を継続することが必要である。</p> <p>以上のとおり、目標を上回る地区で運行を実施したので、達成度をAとした。</p>	A	妥当	（委員1） ・コミュニティバスなので利用者数の増加という視点ではないと思いますが、カバーする人口数（割合）とか地域数（割合）など、公共交通がどのくらい確保できているかという視点での目標設定を行うと、よりわかりやすいと思います。	世羅・村松
70	⑥	教育部	美術博物館	地域財産である二川宿本陣資料館の地域との協働に向けた環境づくり	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】 ○二川宿ブランド化事業を通して、地域資源の発掘や情報発信を行った。 ○NPO法人二川宿を立ち上げ、特産品の開発や域内ガイドの実施など各種イベントを行った。</p> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】 ○二川宿ブランド化調査で地域住民と協働して事業展開できたことにより、まちが活性化した。 ○NPO法人二川宿が設立され、地域住民が組織化して事業ができる体制が整った。また、NPO法人二川宿は商家「駒屋」の指定管理者に選定され、運営を行った。</p> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】 ○地域住民が二川宿本陣資料館や商家「駒屋」において事業展開できるようさらなる協働が必要となる。</p> <p>以上のとおり、目標を達成できたため、達成度をBとした。</p>	B	妥当		世羅・村松
71	⑦	総務部	人事課	職員採用に関する制度の充実	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】 ・任期付任用など新たな試験制度の導入 ・土木系大学訪問や学内企業説明会への積極的参加</p> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】 ・様々な試験区分により多様な人材の確保が図られた。 ・大学との関係づくりが進み、本市採用情報の周知が図られた。</p> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】 ・より一層厳しさを増す技術系職員の確保に向け、試験制度の工夫や大学との継続した関係づくりが必要である。</p> <p>以上のとおり、継続して多様な人材の確保を行ってきたため、達成度をBとした。</p>	B	妥当	（委員1） ・職員採用に関する状況はこれまでと違って市役所にとって困難な状況になっている。民間企業と比較してやりがいのある魅力ある職場であることをより積極的にPRして優秀な人材確保の手立てを講じる必要がある。 <p>（委員2） ・大手企業の囲い込みが強まる中、同じ学部、学科から採用されている職員の後輩への声掛け、説明で少なくとも親近感を持ってもらうことは可能。現在このような手法は流行らないのかもしれないが、意外と有効とも考える。</p>	石原・大久保
72	⑦	総務部	人事課	「人材育成基本方針」の改訂	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】 ・人材育成に関するアンケートの実施 ・これまでの人材育成の取り組みの成果と課題の抽出 ・人材育成基本方針の改訂</p> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】 ・人材育成基本方針の改訂により、「人材確保」「能力開発」「人材活用」「評価」「職場環境づくり」の各分野で取り組む具体的内容が明確になった。 ・各階層に求められる能力の向上のため、職員研修の見直しを図った。</p> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】 ・人材育成基本方針に掲げた具体的な取り組みを推進するとともに、各取組内容の成果及び効果を検証する。 ・特に若手職員、女性職員の育成と能力活用に努め、活躍推進につなげる。</p> <p>以上のとおり、人材育成基本方針の改訂が完了したため、達成度をBとした。</p>	B	妥当	（委員1） ・時代に対応した人材育成方針の策定が求められる。 <p>（委員2） ・今後は特に、女性職員の育成、能力活用を求める。埋没させてはもったいない。</p>	石原・大久保
73	⑦	総務部	人事課	職員のやりがいを高める人事評価と適正な処遇の見直し	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】 ・各所属長との意見交換を実施 ・実務研修派遣や被災地派遣の庁内公募を実施 ・女性職員の活躍推進のための取組指針を策定</p> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】 それぞれの取組を通じて、職員の能力を十分発揮できる職場環境づくりに貢献するとともに、職員個人の意欲の向上にもつなげられた。</p> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】 今後も様々な取組を実施していくことになるが、各取組が効果的に機能しているのか個々に検証することも必要であると考えます。</p> <p>以上のとおり、毎年度取組を実施し、人事制度を強化することができたため、達成度をBとした。</p>	B	妥当	（委員1） ・時代の変化を取り込んだ人事制度の確立が期待される。 <p>（委員2） ・新しいプロジェクトが生まれる際、人材バンクとともに課を超えた「この指とまれ」方式で広く庁内からやりたい人を集めてはいかか。専門性ととともに、趣味で深めている分野において潜在化している能力を発掘でき、活かせるようになる。</p>	石原・大久保

No.	重点項目	部局(H27)	所管課(H27)	取組内容	5年間の総括	達成度	外部評価	外部評価コメント	外部評価者
74	⑦	総務部	人事課	給与等の適正化	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人事院勧告を踏まえ、50歳台を中心とした給料表の引下げ</li> <li>・ 現給保障額の段階的廃止</li> <li>・ 退職手当の支給率の段階的引下げ</li> <li>・ 持ち家に係る住居手当の段階的廃止</li> <li>・ 50歳台後半層における昇給・昇格制度の見直し</li> </ul> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 給与の適正化を図るとともに、総人件費の抑制をすることができた。</li> </ul> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <p>引き続き、国や他の自治体・民間給与を踏まえ、給与の適正化に努めるとともに、時間外勤務縮減の取組みを継続的に実施していく。</p> <p>以上のとおり、給与の適正化を図るとともに、総人件費の抑制をすることができたため、達成度をBとした。</p>	B	妥当	<p>（委員2）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 時間外勤務縮減という課題にたいし、週1でノー残業Dayを設ける。早朝勤務等、働き方の多様化も含めて時短を図る。</li> </ul>	石原・大久保
75	⑧	総務部	行政課	組織・機構の見直し	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <p>先進都市への照会・視察</p> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <p>組織編成の基本的な考え方（政策の推進を柱とした組織、新たな行政課題への迅速な対応が可能な組織、市民にわかりやすい簡素で効率的な組織）に基づき、総合計画の着実な推進と新たな行政課題に的確に対処した機構改革を実施した。</p> <p>なお、中核市と比較しても、本市は適正規模の組織体制であると考えられる（平成27年度）。 《中核市平均 約19.5部約112.6課（局制を除く。） 豊橋市 17部1監94課4室》</p> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <p>後期基本計画に適切に対応した機構改革を実施する必要がある。</p> <p>以上のとおり、一定の成果を果たすことができたと考えられるため、達成度をBとした。</p>	B	妥当	<p>（委員1）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 時代の要請や市民ニーズに合致した組織編成に向けて一層の取組みを期待する。</li> </ul> <p>（委員2）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ これからは特に女性、子どもはキーワードとなる。子ども、老人に比して女性に関する取り組みは遅々としている。女性の地位向上、能力活用などは待たなし。市民協働推進課から男女共同参画部門を別名称にして独立させ、女性を輝かせる方策を市として集約してほしい。これは時代の要請でもあると考える。</li> </ul>	石原・大久保
76	⑧	総務部	人事課	「定員適正化計画」の計画的な執行	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多様な任用形態による職員の効果的な活用</li> <li>・ アウトソーシングの積極的な推進</li> </ul> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <p>上記の取組みに併せ、所属長ヒアリングなどを通じ各所属の業務量を正確に把握することで事務事業のスクラップアンドビルドを推進し、当初目標として掲げた▲258人を上回る▲314人の減員を実施した。</p> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <p>引き続き、業務執行体制の見直しやアウトソーシングなどにより効果的・効率的な人員体制の確立に努めるとともに、複雑・多様化する市民の行政需要にも的確に対応できる人員配置に取り組んでいく。</p> <p>以上のとおり、当初の目標として掲げた▲258人を上回る▲314人の減員を実施したため、達成度を「B」とした。</p>	B	妥当	<p>（委員1）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 引き続き再任用、嘱託、利臨時、外部委託などの諸手法を適切に組み合わせた職員数の適正管理が期待される。</li> </ul> <p>（委員2）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現職員が過度な勤務超過にならないように配慮しながら進めてほしい。</li> </ul>	石原・大久保
77	⑨	総務部	情報企画課	情報システムの開発・運用など広域共同処理の可能性を検討	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 被災者支援システムの導入</li> <li>・ 東三河の情報化推進についての検討会及び作業部会の設置</li> </ul> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東三河7市での被災者支援システムの導入</li> <li>・ 東三河8自治体の情報化推進についての意見交換の場として、東三河情報システム検討会を設置</li> <li>・ 検討会より詳細な検討を行うため各作業部会を設置</li> </ul> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東三河8自治体の検討会及び作業部会による継続検討を実施し、共同システムの導入を目指す</li> </ul> <p>以上のとおり、検討会及び作業部会における検討の結果、被災者支援システムの導入を行ったため、達成度をBとした。</p>	B	妥当		伊藤・村松

No.	重点項目	部局(H27)	所管課(H27)	取組内容	5年間の総括	達成度	外部評価	外部評価コメント	外部評価者
78	㊟	総務部	人事課	他団体との人事交流や職員研修の合同実施	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中核市市長会人事交流の実施</li> <li>・他市との人事交流や合同研修の実施</li> <li>・大学など民間の専門機関への派遣研修の実施</li> <li>・庁内公募の実施と機会拡大</li> </ul> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <p>庁内公募による研修を実施することにより、職員の主体性と意欲を高めることができたほか、職場でのサポート意識の醸成につながった。</p> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人事交流や派遣研修の成果及び課題を検証するとともに、人材の育成及び活用面から新たな派遣先の検討を行う。</li> <li>・庁内公募の研修の機会を増やし、職員の更なる成長意欲を促す。</li> </ul> <p>以上のとおり、職員の能力及び資質の向上のため、様々な取り組みを実施してきたため、達成度をBとした。</p>	B	妥当	(委員2) ・職員の参加状況にも配慮する必要がある。	伊藤・村松
79	㊟	企画部	政策企画課	東三河広域協議会事務局の組織体制の充実	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東三河の各市町村との協議、調整</li> <li>・愛知県との協議、調整</li> </ul> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東三河広域連合の設立</li> </ul> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <p>広域連携事業、権限移譲事務の拡充</p> <p>以上のとおり、東三河広域連合設立したため、達成度をBとした。</p>	B	妥当		伊藤・村松
80	㊟	企画部	政策企画課	三遠南信地域連携ビジョン推進会議(SENA)の組織体制の充実	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三遠南信地域連携ビジョンの推進</li> <li>・三遠南信サミットの開催</li> <li>・事業を推進するための、事業部会を設立</li> </ul> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業部会の設立</li> <li>・三遠南信サミットの開催</li> <li>・産学官人材育成円卓会議の開催</li> </ul> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三遠南信地域連携ビジョンの改訂</li> </ul> <p>以上のとおり、三遠南信の連携を達成できたため、達成度をBとした。</p>	B	妥当		伊藤・村松
81	㊟	文化市民部	市民協働推進課	「どすごいネット」などを活用した東三河地域の市民活動情報の充実	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <p>「どすごいネット」のマニュアルを、東三河5市で作成し新規登録団体に説明後、配布。どすごいネット「活用事例集」を作成。</p> <p>facebookを利用した発信を開始。</p> <p>協働アンケートの実施（情報発信手法）</p> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <p>全体的な発信件数合計は、減少している。しかし、どすごいネットについては、「利用マニュアル」「活用事例集」もあり、H26の情報発信数が増えた。さらに新たな取り組みとしてSNSとの連携等を考えていく。</p> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <p>市民活動団体の情報発信の現状の分析を行い、発信の活性化・更には新たな利用者開拓につなげる。</p> <p>以上のとおり、「どすごいネット」以外に、情報発信をしやすいSNSの広まりもあり件数がのびていない。また目標値に届いていないため、達成度をDとした。</p>	D	要検討	(委員1) ・今後に向けた課題を積極的に実践していただきたい。  (委員2) ・減少の分析をし、目標設定の見直しをする必要がある。	伊藤・村松
82	㊟	福祉部	国保年金課	国民健康保険事業の広域化	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <p>岡崎市との国民健康保険システムの共同開発及び共同運用による経費の節減</p> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <p>岡崎市との国民健康保険システムの共同開発による委託料の節減 134,540,000円 役務費の節減 68,377,000円</p> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <p>システムの共同運用のメリットを更に活かすべく、岡崎市との連携を強化することが必要である。</p> <p>以上のとおり、おおむね計画どおり達成することができたため、達成度をBとした。</p>	B	妥当		伊藤・村松

No.	重点項目	部局(H27)	所管課(H27)	取組内容	5年間の総括	達成度	外部評価	外部評価コメント	外部評価者
83	㊟	健康部	健康政策課	東三河地域の医療体制の確保に向けた連携強化	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <p>広域地域医療研究会の開催 適正受診に係る出前講座の実施 適正受診啓発用クリアファイル、小冊子（救急ガイドブック）を作成し、配布。</p> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <p>出前講座76回開催 適正受診啓発用クリアファイル 19,500部、小冊子（救急ガイドブック） 4,300部配布</p> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <p>地域医療に対する市民の意識改革 東三河広域での活動</p> <p>以上のとおり、東三河広域連合の協議開始により、広域地域医療研究会の開催を見合せたことから、豊橋市単独での適正受診等の啓発活動にとどまったため、達成度をDとした。</p>	D	要検討	<p>（委員1）</p> <p>・取り組みが大きなものであり、豊橋市単独で取り組めるものでもないと感じます。</p> <p>（委員2）</p> <p>・東三河広域連合と関わりにより、当初目標の達成が困難となっていることは、不可抗力であるとも言える。しかし、取組内容が喫緊の課題であることより、豊橋市独自あるいは一部地域での先行活動は必要であり、今後も積極的に実施すべきであろう。また、かかりつけ医の推進に関連した市民の意識啓発は、市単独でも率先して実施すべきである。</p>	世羅・功刀
84	㊟	産業部	産業政策課	東三河地域の企業誘致活動に関する相互協力と連携強化	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <p>・東三河5市企業誘致推進連絡会議で実施に向けた検討を行った。</p> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <p>・東京都で東三河5市主催の企業誘致説明会（東三河5市企業連携懇談会）を開催できた。</p> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <p>・実際の誘致につなげるため、開催手法の見直し、検討を行う。</p> <p>以上のとおり、東三河5市主催の企業誘致説明会を実施できたことから、達成度をBとした。</p>	B	要検討	<p>（委員1）</p> <p>・取り組み目標が説明会の開催だけでは小さすぎると感じるため、企業誘致の成果は中長期にわたることはありますが、関心が高まっている企業とか、最終成果である誘致に関連する目標を設定したほうが良いと考えます。</p> <p>（委員2）</p> <p>・5年間の達成目標が首都圏における東三河5市による企業誘致説明会の実施であるとしても、説明会開催はあくまでも手法であって最終目的ではない。最終目的である企業の誘致定着を促進することが今後の課題であり、そのために必要な情報収集や分析・評価は、これまででも可能であったと推測される。今後は、広域での誘致活動が持つ利点を的確に分析・把握し、企業誘致と定着に繋げて行くことが期待される。</p>	世羅・功刀
85	㊟	産業部	産業政策課	東三河地域の産業活性化に向けたサイエンスクリエイトの広域的な体制強化	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <p>東三河県庁や大学等と連携して豊橋サイエンスコアを会場とするセミナー等を開催した。</p> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <p>さまざまな取組みより利用件数の確保に努めたが、目標の達成はできていない。</p> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <p>新たに設立された社会人キャリアアップ連携協議会を通じて地域が一体となった人材育成に取り組む。</p> <p>以上のとおり、利用件数の確保に努めたが、目標が達成されなかったため、達成度をDとした。</p>	D	妥当	<p>（委員1）</p> <p>・26年度は目標達成できているためD評価でなくてもいいように思いますが、今後は、現在の利用状況やH26の利用件数が増加した理由などを十分に分析して、目標値を設定をする必要があります。</p> <p>（委員2）</p> <p>・取組途中で実施組織の解散・新規設立があり、設定目標が到達できない状況ではあるが、新設組織は効果的に機能していると評価される。しかしながら、設定目標はサイエンスコアの利用件数のみであるため、実際の参加人数増加率、参加者の満足度調査、研修内容の波及効果等本来評価されるべき要素を抽出し、次期プラン策定のために必要なデータとして分析することが、5年間の総括として必要であろう。</p>	世羅・功刀
86	㊟	産業部	みなと振興課	三河港振興会における東三河4市及び商工会議所との連携強化	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <p>・関係市、関係団体への働きかけにより、職員派遣の継続実施され、それぞれとの連携が図れた。</p> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <p>・職員派遣により、三河港振興会の組織強化が図れた。</p> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <p>・引続き、職員を派遣してもらうことで、組織強化を図り、三河港の振興を図っていく。</p> <p>以上のとおり、職員派遣が継続的になされたため、達成度をBとした。</p>	B	要検討	<p>（委員1）</p> <p>・職員派遣数の目標値よりも、派遣された職員がどのようなパフォーマンスを発揮しているのかという観点の目標設定がわかりやすいと思います。</p> <p>（委員2）</p> <p>・5年間の経過のみを見ているため、的確な判断はつきかねるが、「他三市派遣」に対して豊川市と田原市のみ派遣をしている状況で、広域の組織強化、連携強化が実現できているか疑問を感じる。</p>	世羅・功刀

No.	重点項目	部局(H27)	所管課(H27)	取組内容	5年間の総括	達成度	外部評価	外部評価コメント	外部評価者
87	㊟	産業部	農業企画課	農産物輸出の推進に向けた連携強化	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・香港におけるトップセールス及び常設店舗での販売促進活動</li> <li>・店頭販売のための包装提案と包装工程の確立</li> </ul> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・輸出金額の増加（平成22年度：1,898千円⇒平成27年度：3,987千円）</li> </ul> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産者利益を向上させるためには、品目および輸出金額のさらなる増加が求められる。</li> <li>・現状の取組みをさらに進めるとともに、飲食店等の新たな販路拡大を軌道に乗せる必要がある。</li> </ul> <p>以上のとおり一定の目標は達成されたものの、輸出金額を増加させるためには継続的な取組みが必要であるため、達成度をBとした。</p>	B	妥当	<p>（委員1）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊橋は農業粗生産高が日本でも有数の場所であることから、さらに取り組みを進めてほしいです。</li> </ul> <p>（委員2）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全性を始めとする高付加価値食品類の輸出には、競合相手も多く多大な努力が必要とされている。豊橋田原の連携が持つ強みを的確に把握し、今後の取組に生かして頂きたい。さらに、本取組に対する生産者の認識と意識も把握し、良好な協働体制の継続維持を期待する。</li> </ul>	世羅・功刀
88	㊟	消防本部	通信指令課	消防通信指令業務の広域共同運用の拡大	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <p>5市で共同処理について調整し、平成23年3月より田原市が加入したことで、東三河5市による共同運用体制を整えた。</p> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <p>東三河5市による共同運用により豊橋市の負担額が、16,944,000円減少した。</p> <p>大災害時等の非番等召集計画に加え、近隣消防本部からの召集には時間がかかるため、豊橋市内の他消防本部の職員が召集出来るように計画が策定された。</p> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <p>消防通信指令業務以外の消防業務に対する広域連携の強化</p> <p>以上のとおり、一定の成果を達成したため、達成度をBとした。</p>	B	要検討	<p>（委員1）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・田原市加入により引き下げられたので、当初の目的が達成されたということになりますでしょうか。そうすると、当該取り組み項目は、次回のプランには掲載されないという理解です。</li> </ul> <p>（委員2）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組初年度に田原市の加入が達成されたのちは、何らの新規目標設定もなく行革としての取組に相当するか疑問を持つ。また、達成目標として掲げている削減額が絶対値のため、分母となる全体事業費の増減に左右され評価が困難である。総費用に対する削減割合の年次比較を行う等の工夫が内部評価には必要である。したがって、当初設定した削減額目標と、実際の削減額が同率の削減か否か不明のため、評価不能である。</li> </ul>	世羅・功刀
89	㊟	消防本部	通信指令課	消防救急無線のデジタル化に向けた東三河5市の共同整備の検討、実施	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <p>東三河5市による効率的な整備。計画的に準備事務を進めていたことで、国の平成23年度第3次補正予算による補助金及び有利な起債による財源確保。左記の取組みで計画を前倒しすることができたことによる市民サービスの向上。</p> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <p>561,294,010円</p> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <p>東三河5市による効率的な運用、維持管理。</p> <p>以上のとおり、計画より早く整備できるとともに、費用負担も大幅に軽減できたことから、達成度をAとした。</p>	A	妥当	<p>（委員1）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業期間が不明ですが、全体事業費がいくらで、進捗状況はどのくらいなのかわかるような目標設定を行えばよりわかりやすいと思います。</li> </ul> <p>（委員2）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東日本大震災発生は不測の事態であるが、国庫補助金措置に迅速な対応が可能であったことは評価に値する。今後は、有効かつ効率の良い運用を期待する。</li> </ul>	世羅・功刀
90	㊟	総務部	行政課	監査機能の見直しなど内部統制機能の充実	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・契約検査及び会計（備品等）マニュアル（3点セット）の整備及び運用</li> <li>・基本方針の策定</li> <li>・全庁的な業務リスク調査によるリスクの洗い出し</li> <li>・各課毎のリスク発見から防止策の実施</li> </ul> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リスク調査により、全庁的にリスクを把握し、内部統制として取組む内容を定めた。</li> <li>・契約検査マニュアルや会計課関連の業務についてのマニュアルの整備及び運用を図った。</li> <li>・各課毎にリスクの発見から防止策の実施まで、PDCAサイクルとして機能させる取組を実施し、全庁的に様々なリスクの抑制を実現した。</li> </ul> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内部統制の運用まで含めたPDCAを機能させ続けることが重要であり、継続して改善を図る必要がある。</li> </ul> <p>以上のとおり、全庁的に共通する業務及び各課固有のリスクに対する内部統制の構築を実現した。しかし、内部統制に終わりはなく、まだ対応が必要なリスクに対する対策の実施など、継続的な取組・改善が重要であるため、達成度をBとした。</p>	B	妥当	<p>（委員1）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一定の努力は大いに評価するが、さらに徹底するためには、集合研修の充実とともに、あわせて、職場での日々の研修、すなわち、上司、先輩職員による日々の実戦での現任訓練と、職員同士がお互いにチェックしあうチェック体制が必要である。</li> </ul>	諏訪・富田

No.	重点項目	部局(H27)	所管課(H27)	取組内容	5年間の総括	達成度	外部評価	外部評価コメント	外部評価者										
91	⑩	企画部	政策企画課	総合計画の進行管理とわかりやすい事業評価の実施	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新行政評価の着実な実施と市民への広報</li> <li>・エクセルからアクセスへの変更による事務作業の軽減</li> </ul> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <p>入力側、集計側双方の業務負担を削ると共に、円滑な行政評価を実施した。</p> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <p>評価方法の検証</p> <p>以上のとおり、行政評価を円滑かつ着実に実施したため、達成度をBとした。</p>	B	妥当	<p>（委員1）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政評価の意義を一人ひとりの全職員に常に浸透させることが肝要。さらに、日々の業務を進め、調書を作成する上で、予算の執行と行政評価が連動する一工夫が必要と考える。</li> </ul>	諏訪・富田										
92	⑩	会計課	会計課	支出関係書類が法令・予算に違反していないかどうかの厳格な確認	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修体制の強化、見直し</li> <li>・不備書類チェックの強化</li> <li>・書類不備削減「強化月間」の設定として書類不備状況調査の実施（10月及び抜打調査）</li> </ul> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <table border="1"> <tr> <td>H23</td> <td>H24</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> </tr> <tr> <td>3.46%</td> <td>2.83%</td> <td>2.83%</td> <td>1.88%</td> <td>1.46%</td> </tr> </table> <p>書類不備の減少を目指す中で、件数的には5年間の目標値をクリアすることはできた。</p> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・継続的な不備率低下を目指した取組み</li> <li>・「重大な誤り」の削減</li> <li>・チェック機能の強化</li> </ul> <p>以上のことから、達成度をDとした。</p>	H23	H24	H25	H26	H27	3.46%	2.83%	2.83%	1.88%	1.46%	D	妥当	<p>（委員1）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員がお互いにチェックしあうシステムの確立が必要である。</li> </ul> <p>（委員2）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不備率は、目標をクリアしているが、重大な誤りの削減等をどのように見つけ出すか?は、検討が必要では?</li> </ul>	諏訪・富田
H23	H24	H25	H26	H27															
3.46%	2.83%	2.83%	1.88%	1.46%															
93	⑩	監査	監査委員事務局	適法性、効率性、妥当性の観点からの各部局の事業についての一層厳正な監査の実施	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <p>監査の実施時期を固定から一部ローテーション実施に変更した。定型的内部事務を業務とする課について監査を隔年実施とした。学校監査については同様な事例が多いので、本監査対象校を半減した。</p> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <p>学校監査の本監査対象校を半減した。予備監査は従前どおり。</p> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <p>各監査等を効率的に実施するために、定例監査等の実施時期を検討する必要がある。</p> <p>以上のとおり、年間監査計画に基づき監査を行ったことから、達成度をBとした。</p>	B	妥当	<p>（委員1）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定例監査は双方がマンネリにならないように、常に緊張感を持って行うことである。また、一人職場の学校事務の不祥事が他の自治体の例では多発し摘発されている。学校監査こそ全校必要である。</li> </ul>	諏訪・富田										
94	⑪	防災危機管理課	防災危機管理課	危機発生時の体制強化と「危機管理指針」等の整備	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民及び滞在者の生命、身体及び財産への被害を防止・軽減するため、本市における危機管理の枠組みを示すものとして、豊橋市危機管理指針を平成24年7月に策定した。</li> </ul> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・想定する危機事案、体制、発災時対応、危機収束時の対応など危機発生時の体制強化にむけた取組みを推進することができた。</li> </ul> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各課が取り組まなければならない危機管理業務に対応した体制の構築が図られるよう、引き続き危機管理指針の見直しや、危機管理指針に基づく訓練を実施する必要がある。</li> </ul> <p>以上のとおり、危機発生時の体制強化を図る必要があるため、達成度をBとした。</p>	B	妥当	<p>（委員1）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全庁的取組みが必要である。</li> </ul>	諏訪・富田										
95	⑪	関係部局	防災危機管理課	想定危機事案ごとのマニュアル整備と体制強化	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊橋市危機管理指針に基づき、各部局において想定危機事案ごとのマニュアル整備と体制の強化を図った。</li> </ul> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・危機管理マニュアル策定数 87</li> </ul> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・想定危機事案に対応するため、各部局において危機管理マニュアルに基づく訓練を実施するとともに、マニュアルの見直しを図る必要がある。</li> </ul> <p>以上のとおり、個別の危機管理マニュアルの一定の整備ができ、危機に対する円滑な対応が可能となったため、達成度をBとした。</p>	B	妥当		諏訪・富田										

No.	重点項目	部局(H27)	所管課(H27)	取組内容	5年間の総括	達成度	外部評価	外部評価コメント	外部評価者
96	⑫	総務部	人事課	職員の給与支給明細書へ有料広告掲載など	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>職員アンケートや広告代理店への聞き取りによる魅力ある広告の模索。</li> <li>広告掲載スペースの拡大。</li> </ul> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>5年間トータルで1,505,710円（実績）と、当初目標の2倍以上の収入を得ることができた。</li> </ul> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成28年4月より新内部共通事務システムが稼働することにより、給与明細も行政情報端末を使用可能な職員については画面上での確認に移行する予定である。そのことを踏まえ、広告掲載の手法について再検討する必要がある。</li> </ul> <p>以上のとおり、当初目標を大きく上回る成果が得られたため、達成度をAとした。</p>	A	妥当	<p>（委員2）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>外部評価コメントにもあるように、アイデアは面白いが広告主が集まりにくいのであれば別の方策も検討すべきではないか。特に、給与支給明細書が紙媒体からデータに一部移行することが決定しているのであれば、他の面白いアイデアを期待する。</li> </ul>	石原・功刀
97	⑫	財務部	納税課	滞納整理に関する広域共同処理体制の整備	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <p>愛知県東三河地方税滞納整理機構を設置、職員を派遣し、高額困難案件の共同徴収に取り組んだ。</p> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <p>5年間で766,093,497円の徴収実績をあげた。</p> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <p>愛知県東三河地方税滞納整理機構は平成27年度で終了し、平成28年度からは東三河広域連合で滞納整理事業を実施する。</p> <p>以上のとおり、5年間の総額で、H24.10月修正後の目標額を20%上回ることであったため、達成度をAとした。</p> <p>5年間の総額766,093,497円 / (120,000,000円×5年) = 128%</p>	A	妥当	<p>（委員1）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今後の目標数値については環境の変化などを加味して再検討を行う必要がある。</li> </ul> <p>（委員2）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今後は実施組織が異なることより、過去5年間の取組内容を活かしつつ、新組織内での連携体制強化とこれまでの実績維持が期待される。</li> </ul>	石原・功刀
98	⑫	財務部	納税課	徴収業務や納付窓口の充実と口座振替の加入促進による収入率の向上	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <p>愛知県東三河地方税滞納整理機構において高額困難案件の共同徴収に取り組むとともに、市税コールセンターにおける早期催告、休日開庁、モバイルレジの実施など納付機会の充実に取り組んだ。</p> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <p>各年度とも、市税収入率の目標を達成している。</p> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <p>愛知県東三河地方税滞納整理機構は平成27年度で終了し、平成28年度からは東三河広域連合で滞納整理事業を実施する。</p> <p>以上のとおり、平成26年度までの実績に基づき、平成27年度においても目標を上回ることができると考えられるため、達成度をBとした。</p>	B	妥当	<p>（委員1）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>目標市税収入率については他市の状況等も踏まえて見直すこと。</li> </ul> <p>（委員2）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成28年度からの東三河広域連合による事業推進において、これまでと同様の取組が可能か。特に、休日開庁による相談体制維持は新組織体制下でも継続可能か等、検討が必要であろう。</li> </ul>	石原・功刀
99	⑫	財務部	資産税課	固定資産地理情報システム導入による適正課税と収入の確保	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <p>航空写真と現況の課税状況を比較して、差異がある土地や建物の適正課税に努めた。</p> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <p>（土地）平成24年度から平成27年度にかけて、4,277件の不一致調査を行い、1,096件の土地の評価を見直した。結果、51,944,510円の増収となり、目標額を上回った。</p> <p>（家屋）平成24年度から平成27年度にかけて、25,415件の不一致調査を行い、1,867件の見直しで335,061円の減収となった。当初は1,320万円の増収を見込んでいたが、途中から滅失処理優先に切り替えため当初目標に届かなかった。</p> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <p>今後も、不一致リストを定期的に作成・活用し、適正課税と収入の確保を更に推進させることが重要と考える。</p> <p>以上のとおり、一定の成果をあげることができたが、当初の予定通りとはいかず、目標の見直しも行うなど、課題も生じた。よって達成度はDとする。</p>	D	要検討	<p>（委員1）要検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>固定資産税の捕獲率の向上については、引き続き、課税の公平の観点から、厳密厳格な取り組みが求められる。</li> </ul> <p>（委員2）要検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>当初目標値の設定理由を、再度検証すべきであろう。固定資産税の適性課税は、市民にとっても有益であるため、できるだけ客観的なデータに基づく調査により見直しを行い、そのプロセスを市民に周知徹底すべきであろう。</li> </ul>	石原・功刀
100	⑫	財務部	財政課	全庁的な有料広告掲載の促進と自動販売機の貸付方法の見直しなど	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <p>広告収入については、実施広告事業可能性調査の実施、既存の広告媒体の他施設等への拡大、複数施設での連携を促すなど、財源確保に努めた。</p> <p>自動販売機貸付については、設置可能な施設を増加させ、積極的に入札方式を導入した。</p> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <p>平成22年度末と比べて広告収入については17,441千円の増加、自動販売機貸付については27,269千円の増加、総額で44,710千円の増加を見込めることとなった。</p> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <p>広告収入においては、新たな広告媒体をさらに検討し、既存の広告媒体の他施設等への導入を今以上に拡大させる。</p> <p>自動販売機貸付については、設置可能な施設の増加や設置数の拡大などを検討し、さらなる財源確保を積極的に取り組んでいく。</p> <p>以上のとおり、計画期間において、44,710千円の達成額となったが、さらなる自主財源に努める必要があるため、達成度をBとした。</p>	B	妥当	<p>（委員2）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自主財源確保のために、さまざまな発想と手法により目標達成を目指す姿勢は評価できる。今後は、新たな発案による自主財源確保が期待される。</li> </ul>	石原・功刀

No.	重点項目	部局(H27)	所管課(H27)	取組内容	5年間の総括	達成度	外部評価	外部評価コメント	外部評価者																														
101	⑫	財務部	資産経営課	未利用地の売却による売却収入の確保	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・未利用地の土地カルテ(土地情報、位置図、現況写真)を整備した。</li> <li>・民間業者のノウハウを活用し、売却可能性調査を実施した。</li> </ul> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土地の売却金額H23～H27（181,937,013円） 除草委託料の削減H23～H27（685,500円） 貸付料の増加（53,999円）</li> </ul> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入札不調物件の売却</li> <li>・行政財産についての未利用地の有効活用、売却</li> <li>・所管課不明の土地についての調査</li> </ul> <p>以上のとおり、一定の目標を達成できたことから、達成度をBとした。</p>	B	妥当	<p>(委員1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・普通財産等の売却は環境や状況の変化を察知した時機に合致した目標額の設定が期待される。</li> </ul> <p>(委員2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5年間の取組により、容易な売却が可能な未利用地は、すでに売却済みとなっている。今後は、売却困難な土地の処理に民間事業者との協働により取組むことが期待される。</li> </ul>	石原・功刀																														
102	⑫	財務部	債権管理課	債権の適正な管理	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <p>債権所管課ごとにマニュアルを作成させ、債権回収への意識付けを行った。また座学による研修を実施し、知識の習得をはかる一方、休日訪問や差押への帯同による実務研修により、実際の滞納整理技術の向上を図った。</p> <p>また、債権の不適正処理の是正を行うとともに、法的措置を実施して滞納案件の圧縮をはかった。平成26年度には受託債権を一元管理する『債権管理システム』を開発し、基本情報の入力事務省力化や催告書、調査依頼書の出力、未納額の把握や延滞金等の算出、時効管理などの債権管理が可能となった。</p> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <p style="text-align: center;">＜ 受託債権処理実績等 ＞ (単位：人、円)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>受託人数</th> <th>受託金額</th> <th>債権徴収額</th> <th>徴収率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>23年度</td> <td>35</td> <td>17,873,335</td> <td>1,572,407</td> <td>8.80%</td> </tr> <tr> <td>24年度</td> <td>274</td> <td>73,538,317</td> <td>11,020,769</td> <td>14.99%</td> </tr> <tr> <td>25年度</td> <td>141</td> <td>39,864,554</td> <td>3,200,467</td> <td>8.03%</td> </tr> <tr> <td>26年度</td> <td>778</td> <td>184,766,515</td> <td>24,298,780</td> <td>13.15%</td> </tr> <tr> <td>27年度見込</td> <td>704</td> <td>143,213,574</td> <td>23,527,630</td> <td>16.43%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <p>債権管理において、金額が大きく債権が徴収しやすい現年分未済額の圧縮は、必要不可欠であるが、大量に発生すること、所管課に十分な体制が備わっていないことなどから対応が遅れがちである。債権管理課では、所管課の脆弱性を補完するとともに、アウトソーシング、組織再編などの検討が必要となっている。</p> <p>歳入確保と収入未済の縮減のためには、債権管理に対する各債権所管課の意識向上が不可欠であり、目標管理を実践していく必要がある。これまでも5年後を想定した年次計画を毎年改定しながら目標としてきたが、今後は、将来的な財政需要を踏まえた効率的、効果的な計画策定とその実践が必要となっている。</p> <p>以上のとおり、今後に課題を残してはいるが、概ね所期の目標値を達成したため、達成度をBとした。</p>		受託人数	受託金額	債権徴収額	徴収率	23年度	35	17,873,335	1,572,407	8.80%	24年度	274	73,538,317	11,020,769	14.99%	25年度	141	39,864,554	3,200,467	8.03%	26年度	778	184,766,515	24,298,780	13.15%	27年度見込	704	143,213,574	23,527,630	16.43%	B	妥当	<p>(委員2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5年間の取組において、受託債権の一元管理システム開発や担当職員の研修実施等、様々な手法で成果の蓄積を図る試みは評価に値する。今後は、回収困難案件への対応が主要業務となるであろうが、各所管課との連携により継続した取組が望まれる。</li> </ul>	石原・功刀
	受託人数	受託金額	債権徴収額	徴収率																																			
23年度	35	17,873,335	1,572,407	8.80%																																			
24年度	274	73,538,317	11,020,769	14.99%																																			
25年度	141	39,864,554	3,200,467	8.03%																																			
26年度	778	184,766,515	24,298,780	13.15%																																			
27年度見込	704	143,213,574	23,527,630	16.43%																																			
103-1	⑫	企画部	広報広聴課	広報紙への有料広告掲載など	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成24年3月より広報とよはし有料広告を開始した</li> </ul> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <p>広告料が平成27年度までの5年間で42,270,391円となり、5年間で目標額34,020,000円を大幅に上回る見込みである</p> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <p>広告料が頭打ちになることも考えられ、さらなる財源確保への努力が必要となる</p> <p>以上のとおり、目標額を大幅に上回る見込みのため、達成度をAとした。</p>	A	妥当	<p>(委員1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の目標額の設定に際しては、この5年間の実績や環境状況の変化を斟酌する必要がある。</li> </ul> <p>(委員2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自主財源確保の手法として有料広告掲載を取り上げ、順調に成果を伸ばしていることは評価できる。広告媒体である広報とよはしや豊橋市HP自体を魅力あるものにし、市民のアクセスを増加させないと広告依頼の減少に繋がるであろうから、媒体作成部課との連携も今後は必要となるであろう。</li> </ul>	石原・功刀																														
103-2	⑫	都市計画部	まちなか活性化課	市有地売却による自主財源の確保	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市有地を防災用地として活用するために防災危機管理課に移管した</li> </ul> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災用地として豊橋駅利用者の帰宅困難者等一次支援施設の整備を開始した</li> </ul> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・効果的な運用</li> </ul> <p>以上のとおり、自主財源の確保は図られなかったものの、防災用地として有効活用がはかれることとなったため、達成度をBとした。</p>	B	妥当	<p>(委員1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・状況の変化を斟酌して今後の目標を定める必要がある。</li> </ul> <p>(委員2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・未利用地の処理法として、売却以外の方法で市民サービスに供することが可能であれば成果として評価可能である。</li> </ul>	石原・功刀																														

No.	重点項目	部局(H27)	所管課(H27)	取組内容	5年間の総括	達成度	外部評価	外部評価コメント	外部評価者
104	⑫	文化市民部	文化課 多文化共生・国際課	豊橋市国際交流協会など団体の自主財源の確保と自立度の向上	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的な会員の勧誘活動</li> <li>・新規事業の実施による啓発活動（多文化共生・国際課）</li> <li>・豊橋文化振興財団の企業協賛・各種補助金の獲得による自主財源の確保（文化課）</li> </ul> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで、青少年の海外派遣やスピーチコンテスト、インターナショナルフェスティバルを毎年実施するなど様々な機会に国際交流啓発を続けてきた。平成26年度においては国際交流協会設立25周年事業により、多くの来場者に向けて国際交流の啓発を実施することができた。（多文化共生・国際課）</li> <li>・23年度13,997千円から26年度29,103千円と多くの自主財源を確保することができた。（文化課）</li> </ul> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・従来どおりの取組を引き続き行い、賛助会員の維持及び、新規会員の獲得に努める。（多文化共生・国際課）</li> <li>・さらなる企業協賛・各種補助金の獲得（文化課）</li> </ul> <p>以上のとおり、一定の自主財源が確保できたため、達成度をBとした。</p>	B	要検討	<p>（委員1）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自主財源の確保はその時の状況に大きく左右される事業であり、今後に向けた計画の策定においても、状況の変化を適確に把握して行う必要がある。</li> </ul> <p>（委員2）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種団体の自主財源確保の手法としては、会員数増加と公的補助金や企業協賛金確保が常套である。会員数の確保が困難な現状では、補助金確保以外の方策にも取り組む必要が喫緊の課題である。</li> </ul>	石原・功刀
105-1	⑫	福祉部	福祉政策課	地域福祉センター使用料の見直しなど	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉センターの使用料の見直しを実施した。</li> </ul> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉センターの使用料が、12,205,291円増加した。</li> </ul> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も適正な使用料徴収を行うとともに、新たな自主財源確保についての検討を進める。</li> </ul> <p>以上のとおり、地域福祉センター使用料見直しによる効果はあったものの、健診審査受診料自己負担額の見直しができなかったことから目標額に達しなかったため、達成度をDとした。</p>	D	要検討	<p>（委員1）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健診審査受診料の自己負担について、今後どのように取り組むのかを検討する必要がある。</li> </ul> <p>（委員2）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康診断受診料の一部自己負担金設定に関し、市民サービスの低下に繋がると判断されることが推測される。市民の意見を聴取する等の事前対応が必要ではないか。自主財源確保は行政として必要ではあるが、市民サービスの低下を引き起こさないよう注意して実施すべきである。</li> </ul>	石原・功刀
105-2	⑫	こども未来部	こども未来館	こども未来館のホームページへバナー広告掲載	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バナー広告を出していただくためにこども関連企業などに働きかけた。</li> </ul> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成24年度 30,000円</li> </ul> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページのデザイン変更などにより魅力あるホームページ作りが必要。</li> </ul> <p>以上のとおり、目標未達成のため、達成度をDとした。</p>	D	要検討	<p>（委員1）要検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バナー広告を募集する自治体は非常に多く、その中で豊橋市に発注がなされるには何をPRポイントにするかを検討する必要がある。</li> </ul> <p>（委員2）要検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こども未来館のHPデザインでは、バナー広告の位置が最下段であり、何回もスクロールを繰り返さないとバナーが出現しない構成である。そのため、HPにアクセスしてもバナー広告に気付くことは殆どなく、広告主にとっても費用対効果が望めない。このような状況は、本取組を開始する際に修正すべき事項であり、さらに、H.24年度1年間のみ広告掲載依頼がなされた際、なぜ1年間のみか要因分析を行えば気付いたであろう。これらの点からも取組姿勢に疑念を感じる。最終年度になり、HPデザイン変更を手がけるようであるが、この間の外部評価コメントを再読し、真摯に対応されることを期待する。</li> </ul>	石原・功刀
106	⑫	健康部	食肉衛生検査所健康増進課	余熱利用施設の集客力アップ策による使用料収入増などの自主財源確保	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報活動の実施（近隣小学校、医療機関へのチラシ配布及びフリーペーパーへ記事掲載）</li> <li>・と畜処理上限頭数の見直し計画を前倒し執行し、22～23年度に検査手数料収入が増加したが、24年度以降は養豚農家の廃業や規模縮小のため目標をできない状況となったことから、25年度に完了とした。</li> </ul> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・余熱利用施設使用料 目標増加額4,800千円 → 実績額32,145,350円</li> <li>・食肉衛生検査所手数料 目標増加額11,400千円 → 実績額▲3,681,680円</li> </ul> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・使用料及び利用者数は順調に推移してきたものの、プール利用者の伸び率は、多機能（トレーニングルーム、浴場）に比べ劣るので、引き続き、プール利用者の増を図る。</li> </ul> <p>以上のとおり、最終目標額を大幅に超えるため、達成度をAとした。</p>	A	妥当	<p>（委員1）妥当</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プール利用者の伸び率向上のために展開する具体的な手立てを検討する必要がある。</li> </ul> <p>（委員2）妥当</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H.26年度からの取組内容再編のため、5年間の総括が困難である。取組1に関しては、広報活動による効果が順調に認められ、妥当な成果が得られていると評価できる。今後は、プール利用者増に特化した広報戦略が期待される。</li> </ul>	石原・功刀

No.	重点項目	部局(H27)	所管課(H27)	取組内容	5年間の総括	達成度	外部評価	外部評価コメント	外部評価者
107	⑫	環境部	業務課	クリーンカレンダー等への有料広告掲載など	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】 ごみ収集車の広告については、仕様を再検討し見直した。</p> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】 広告掲載については、経済状況の影響を受けやすいことから目標額を達成することはできなかったが、収入源を継続的に確保するという成果が得られた。</p> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】 広告媒体として多くの広告が集まるようにごみ収集車のイメージアップを図ることに加えて広告主への発注方法についても検討する必要がある。</p> <p>以上のとおり、当初の目標を達成することができなかったため達成度をDとした。</p>	D	要検討	<p>（委員1） ・事業等のくくりとして非常に小さくくくりになっているので、他の取り組みとまとめて評価の対象としてはどうか。</p> <p>（委員2） ・ごみ収集車は必要不可欠な市民サービスを担っており、本来もっと良いイメージを持つべき存在である。この際、イメージアップを図る方策をまずは検討する過程で、広告掲載獲得の戦略を検討するという発想の転換も必要ではないか。イメージアップの具体策には市内外へのアイデア募集も有効な手法ではないか。</p>	石原・功刀
108	⑫	産業部	競輪事務所みなと振興課	競輪のホームページへのバナー広告掲載など	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】 新顧客の開拓、営業活動。</p> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】 バナー広告では新規顧客を2社開拓。また、平成26年度途中から遊戯機器の設置を開始し、新たな収入源を確保。</p> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】 既存の事業にこだわらず、遊戯機器の設置を始めたように新たな収入源となる新規事業を検討していきたい。</p> <p>以上のとおり、後半の年度は目標額を達成したことと、新規事業を開始できたため達成度をAとした。</p>	A	要検討	<p>（委員1） ・評価体系として非常に小さい内容になっているので、他の取り組みと統合することが必要ではないか。</p> <p>（委員2） ・当初の取組手法であるHPのバナー広告については、当初目標額を達成してはいないが、徐々に成果を得ていることは評価できる。バナーの位置もHP上では効果的な位置であり、より多様な業種への営業展開が望まれる。また、自主財源確保という観点から、新規取組へと展開する判断と行動は必要である。今後は、年度ごとの成果に安定性が確保されるよう検討が必要であろう。</p>	石原・功刀
109	⑫	総合動植物公園部	動植物公園	総合動植物公園のイベント企画等による自主財源の確保	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】 セグウェイガイドツアーやエサやり体験など新たなイベントを開始するとともに、26年度からの指定管理者選定時に業務範囲の見直しを実施し、園内物販事業者については直接契約により積極的にオリジナル商品の開発・販売を促進するなど来園者サービスの向上と自主財源の確保に努めた。</p> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】 積極的な新規イベントの実施や、その拡充により目標額を大きく上回る効果を上げることができた。</p> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】 自主財源の更なる確保のためには、来園者ニーズを的確に把握し、効果的な新しいイベントをタイムリーに実施していくことが必要。</p> <p>以上のとおり、目標額を上回る効果額を上げ、来園者サービスの向上にも寄与したため、達成度をAとした。</p>	A	妥当	<p>（委員2） ・施設本来の機能や特色を活かした方策により自主財源確保を達成している取組は評価できる。来園者ニーズを的確に把握し、効果的に対応することが今後も望まれる。当初の取組手法であった有料広告掲載や物販の成果は現状伸び悩んでいるが、オリジナルグッズの内容等、今後の再検討が期待される。</p>	石原・功刀
110-1	⑫	総合動植物公園部	自然史博物館	自然史博物館などのホームページへバナー広告掲載など	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】 企業訪問等による掲載勧誘。</p> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】 24年度は実績(10,000円)ができ、25～27年度は目標額(60,000円)を達成した。</p> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】 ホームページバナー広告掲載のほかにも自主財源の確保として、チラシ広告などの方法を検討する。25年度以降は安定した財源を確保できたが、目標値未達成のため、達成度をDとした。</p>	D	要検討	<p>（委員1） ・バナー広告全般に広告主が少ない状況で、今後この事業の在り方については、抜本的に再検討すべきである。特に豊橋市にとっての費用対効果を吟味すべきではないか。</p> <p>（委員2） ・自主財源確保の観点からの取組であれば、バナー広告というある意味お手軽な方策に頼るのではなく、施設本来の方策も検討すべきではないか。欧米では、博物館や美術館への寄付は企業メセナやCSRの対象として盛んである。社会の経済状況に左右される方策ではあるが、広告収入も同様なリスクを含んでいる。また、有料イベント開催等施設本来の機能に基づく財源確保策も、新規方策として検討すべきではないか。</p>	石原・功刀

No.	重点項目	部局(H27)	所管課(H27)	取組内容	5年間の総括	達成度	外部評価	外部評価コメント	外部評価者
110-2	⑫	教育部	図書館生涯学習課 美術博物館 科学教育センター	中央図書館などのホームページへバナー広告掲載など	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広告掲載のための勧誘</li> <li>・広告代理店とのバナー広告一括契約</li> </ul> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育施設4施設が歩調を合わせ、バナー広告を一括して広告代理店と契約することで、すべての広告枠を埋めることができた。</li> </ul> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページの充実により、バナー広告の魅力を高め、一層の収益の増加を図る。</li> </ul> <p>以上のとおり、収入増が図れたものの、目標に向けた途上のため、達成度をDとした。</p>	D	要検討	<p>（委員1）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バナー広告全般に広告主が少ない状況で、今後この事業の在り方については、抜本的に再検討すべきである。特に豊橋市にとっての費用対効果を吟味すべきではないか。</li> </ul> <p>（委員2）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あくまでもバナー広告での取組を貫くのであれば、各施設のHPデザインの再考から始めるべきであろう。バナーの位置がいずれもトップ画面にないため、アクセス層の目に付きがたい状況を改善しない限り、広告掲載の費用対効果が認識されないであろう。自己評価でも述べているように、HPのデザイン再考も魅力改善に繋がるので、早急の行動が望まれる。</li> </ul>	石原・功刀
111	⑬	財務部	財政課	使用料、手数料の全庁的な見直し	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <p>必要なコスト等に対して適正な負担水準となるよう調査、見直しを実施。</p> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <p>平成25年度において、26年4月から消費税率が5%から8%に引き上げられることから、消費税の課税対象について転嫁を行うとともに、使用料等については全庁的な見直しを実施し、受益者負担を基本に施設の維持管理にかかるコストと負担の状況を踏まえ、統一的な観点から検証を行い、地区市民館使用料や体育施設使用料など一部の使用料等について改定を実施した。（改定による影響額：全会計 約371,000千円（うち消費税分約323,700千円））</p> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <p>原則5年を目途にコスト等の試算による負担水準の妥当性等を確認し、必要があれば見直しを行うこととしている。（前回実施：平成25年度）</p> <p>また、平成29年4月から消費税率が10%に引き上げられることとなっているため、対応が必要である。</p> <p>以上のとおり、適正な使用料等設定への見直しを図ることができたため、達成度をBとした。</p>	B	妥当	<p>（委員2）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消費税の上乗せ分は利用者にとっては負担になるが、受益者負担は止むを得ない。10%になっても粛々と実行すべきと考える。</li> </ul>	伊藤・大久保
112	⑬	文化市民部	文化課 市民協働推進課	文化施設の利用料金の見直しなど	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・類似施設の利用料金を調査し、利用料金の適正化の検討・改正（文化課）</li> <li>・地域へのアンケート調査及び検証を実施（市民協働推進課）</li> </ul> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成26年の消費税率改正に合わせ、平成25年度に料金改定を実施した（文化課）</li> <li>・前芝校区市民館における有料使用制の導入（市民協働推進課）</li> </ul> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・類似施設との比較検討だけでなく、施設の維持管理にかかるコストと負担の状況も考慮していく（文化課）</li> <li>・校区市民館における有料使用制導入拡大の検討（市民協働推進課）</li> </ul> <p>以上のとおり、文化施設の利用料金に関する検討・見直しを行い、利用料金が適正であることを確認したため、達成度をBとした。</p>	B	妥当	<p>（委員2）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前芝校区市民館における「有料使用制」を支持します。適正料金の設定がぶれないように計算式を作ることが出来ると良いですね。</li> </ul>	伊藤・大久保
113	⑬	健康部	健康政策課 生活衛生課	看護専門学校の授業料、受験料、入学料などの見直し	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <p>平成23年3月・平成25年12月に授業料等の改定のため条例改正を行った。</p> <p>犬猫については、終生飼育の啓発指導を推進し、止むを得ない事情により引き取りに出す場合でも、新しい飼い主を捜すようお願いした。</p> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <p>授業料等の見直しにより42,000,000円の増収となり、心理カウンセラーの新規配置等学校教育環境整備に充てることができた。</p> <p>犬猫については、今まで徴収していなかった引取りの手数料を徴収するようになり、23・24年度は大幅な収入増となったが、終生飼育の啓発指導の推進により、25年度以降収入は減少している。</p> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <p>今後も県下の公立の看護専門学校の授業料等との均衡を図りながら歳入確保に努め、学校運営の健全化や各種教育環境整備の向上に取り組んでいく必要がある。</p> <p>犬猫については、更に、終生飼育の啓発指導を推進し、止むを得ない事情により引き取りに出す場合でも、新しい飼い主を捜すように強く指導することにより、引取り頭数を減少させていく。</p> <p>以上のとおり、犬猫については目標を達成できなかったが、大部分を占める看護専門学校について計画通り実施したため、達成度をBとした。</p>	B	妥当	<p>（委員2）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・動物愛護の観点からも啓発指導の強化をお願いしたい。</li> </ul>	伊藤・大久保

No.	重点項目	部局(H27)	所管課(H27)	取組内容	5年間の総括	達成度	外部評価	外部評価コメント	外部評価者
114	⑬	健康部	健康政策課 健康増進課 こども発達センター	歯周病検診などの自己負担額の見直し	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <p>1 財源確保のため、県市長会等への要望活動</p> <p>2 託児有料化</p> <p>3、4 健診費用の一部自己負担化</p> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <p>2 1,541,250円</p> <p>1、3、4 実績なし（歯科医師会との協議、調整のみ）</p> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <p>1 予防接種は、定期化に伴い自己負担は見送り。</p> <p>2 全庁的なバランスを踏まえ、今後も必要な見直しを行っていく。</p> <p>3、4 28年度に予定されている診療報酬の改定時期に合わせ、当事者のメリット・デメリットを明確に説明していくなど、継続的な協議を実施していく。</p> <p>以上のとおり、目標を大幅に下回ったため、達成度をDとした。</p>	D	要検討	<p>（委員2）</p> <p>・子どもの予防接種は原則無料。成人については有料化の方向で、聖域を設けず協議したい。インフルエンザの予防接種費用4280円は高いのではないかと。自由設定なので、もっと安くなるはずと考える。</p>	伊藤・大久保
115	⑬	環境部	環境政策課	ごみの減量化に向けた経済的手法の導入など	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <p>・豊橋市のごみの現状の周知</p> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <p>・庁内でごみに対する意思統一が図られた。</p> <p>・豊橋市のごみ量が他都市に比べ多く、リサイクル率が低いことを知ってもらい、ごみ減量とリサイクルの必要性の認識が進んだ。</p> <p>・有料化に向けて、段階的な施策の方針が整理された。</p> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <p>・ごみの持ち出しマナーと分別精度の水準が低いことから指定ごみ袋制度の導入により是正を図る必要がある。</p> <p>・有料化に向けて市民への理解を得る必要がある。</p> <p>以上のとおり、有料化については実施時期を再検討することとしたため、達成度をDとした。</p>	D	要検討	<p>（委員1）</p> <p>・有料化に向けて、5年間の成果に示されるように一歩ずつ進めていただきたい。</p> <p>（委員2）</p> <p>・減量をしていくためには、強い意志力が必要。誰かが嫌われ役にならない限り、進まない。役所の姿勢が試されている。やるなら徹底してやるべき。生ごみへの言及が消えているが、どうするのか。明記してほしい。</p>	伊藤・大久保
116	⑬	産業部	商工業振興課 農業支援課	各種研修受講料など自己負担額の見直しなど	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <p>・勤労青少年ホーム教養講座及び中小企業技術者研修について、PRの充実、研修内容の見直し等を行い、相対的に受講料自己負担額の適正化を図った。</p> <p>・市民ふれあい農園の利用料金について、必要経費に対する利用者負担額の割合が50%以上となるよう設定することとし、管理業務の民間への委託化完了後、利用料金の再検討を行った。</p> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <p>・勤労青少年ホーム教養講座及び中小企業技術者研修では、自己負担額の見直しについては保留したため、△1,031,200円の成果となった。</p> <p>・市民ふれあい農園では、管理委託料以外の経費も含めて負担割合を算出した結果、受益者負担割合が50%以上あり、また、利用申込数が募集数と均衡している状況から現行利用料金は妥当を判断した。</p> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <p>受講者数が定員を下回っている状況の中で自己負担額の見直しを行うことは更なる受講者数の減を招く恐れがあるため、慎重に検討する必要がある。</p> <p>以上のとおり、効果目標に達しなかったため、達成度をDとした。</p>	D	要検討	<p>（委員1）</p> <p>・研修内容の検討に注力していただきたい。</p> <p>（委員2）</p> <p>・何のための誰のための事業なのか。基本に返れば方策も見えてくる。</p>	伊藤・大久保
117	⑬	建設部	住宅課	市営住宅の施設使用料の見直しなど	<p>市営住宅敷地内に管理戸数分の駐車場区画のある12住宅に対し、駐車場の有料化を実施するとともに、建替住宅に対しては入居開始とともに有料化を実施した。</p> <p>また2住宅については、児童遊園の一部を改修した上で駐車場区画数を確保し、有料化を実施した。</p> <p>平成27年度には、有料化未実施である5住宅の入居者に対し説明会を実施し、平成28年度には駐車場を整備後、有料化を実施する予定である。</p> <p>以上のとおり、有料化を予定していたが実施できなかった住宅があったため、達成度をDとした。</p>	D	妥当	<p>（委員2）</p> <p>・駐車場利用に関しては受益者負担は当然と考える。多寡の判断はあるにしても、基本的には、全戸有料を前提に実施する。</p>	伊藤・大久保
118-1	⑬	総合動植物公園部	動植物公園 自然史博物館	総合動植物公園の駐車場使用料の見直しなど	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <p>駐車場の有料化実施により新たな財源確保にも努めた。また、大型映像については番組選定基準の見直しなどにより来館者ニーズに即した番組の上映を実施し、観覧者料の確保に努めた。</p> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <p>駐車場有料化等新たな財源確保に努め全体として目標効果額を上回る結果となったが、大型映像観覧料についてはほの国こどもバスポート導入による有料観覧者数の減少により目標額未達成となった。</p> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <p>大型映像の番組内容の更なる充実と効果的なPR活動の推進とともに、その他の自主財源確保の検討</p> <p>以上のとおり、新たな収入確保により当初計画の120%を上回る目標額達成のため、達成度をAとした。</p>	A	要検討	<p>（委員1）</p> <p>・今後に向けた課題を具体的に進めていただきたい。</p> <p>（委員2）</p> <p>・駐車場利用収入という新たな財源の効果は認められるが、従来ある施設の利用向上という課題はそのまま残っているためA評価は高すぎる。大型映像については入園料とのセット割りを導入すれば必ず利用するのではないかと。その際には間断なく上映されるように利便性を上げる必要もあると考える。</p>	伊藤・大久保

No.	重点項目	部局(H27)	所管課(H27)	取組内容	5年間の総括	達成度	外部評価	外部評価コメント	外部評価者
118-2	⑬	教育部	教育政策課 生涯学習課 科学教育センター	プラネタリウム観覧料などの見直し	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・従来、無料だった講座(家庭教育講座、市民大学トラム(高齢者セミナー))を有料化した。</li> <li>・公営児童クラブ利用料の見直し(6,000円→7,000円)</li> </ul> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成23年度より家庭教育講座受講料を有料化した結果、毎年約70～80万円の収入増となった。</li> <li>・公営児童クラブについては、目標額(61,560,000円)を達成した(62,793,000円)</li> </ul> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講座参加者数を伸ばすために、市民ニーズを捉えた講座を開催。</li> <li>・公営児童クラブについては、国から条例制定を求められた運営及び設置に関する基準により、従来の利用者負担の考え方が撤回されたため、今後新たに示される利用者負担の考え方に基づき、負担のあり方を再考しなければならない。</li> </ul> <p>以上のとおり、収入増への取り組みを図ったものの未達成のため、達成度をDとした。</p>	D	要検討	<p>(委員1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公営児童クラブの負担のあり方の再考をしっかりとしていただきたい。</li> </ul> <p>(委員2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プラネタリウム観覧と星空観察会をセットで行う機会もあると良いと思う。理科の授業や高齢者セミナーにも利用できないか検討したい。高齢者セミナーは市が実施しなくてもそれぞれの希望に沿った民間の講座に参加してもらってはいいかが。市がやるなら市の施設を最大限活かすような市でなくてはできないようなセミナーを実施する。</li> </ul>	伊藤・大久保
118-3	⑬	こども未来部	こども家庭課	公営児童クラブ利用料などの見直し	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・従来、無料だった講座を有料化した。</li> <li>・公営児童クラブ利用料の見直し(6,000円→7,000円)</li> </ul> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成23年度より家庭教育講座受講料を有料化した結果、毎年約70～80万円の収入増となった。</li> <li>・公営児童クラブについては、目標額(61,560,000円)を達成額(66,053,000円)が上回った。</li> </ul> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講座参加者数を伸ばすために、市民ニーズの把握</li> <li>・公営児童クラブについては、国から条例制定を求められた運営及び設置に関する基準により、従来の利用者負担の考え方が撤回されたため、今後新たに示される利用者負担の考え方に基づき、負担の在り方を再考しなければならない。</li> </ul> <p>以上のとおり、目標額を上回ったため、達成度をBとした。</p>	B	妥当	<p>(委員2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童クラブの利用料の負担増と受講料の有料化により目標額を達成しているため、3、4事業におけるB評価は妥当と考える。</li> </ul>	伊藤・大久保
119	⑭	財務部	資産経営課	公共施設マネジメントの強化	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設データの一元化、施設評価の実施、施設保全計画等の策定、職員研修会の実施</li> </ul> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <p>公共施設データの一元化や施設評価による施設の方角性の決定、計画的な保全と将来負担の平準化のための施設保全計画策定により、公共施設マネジメントの強化を図ることができた。また、毎年の職員研修会の実施により職員意識の向上や施設運営意識の醸成も図ることができた。</p> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <p>引続き、施設保全計画の確実な実行が求められるが、平成28年度に策定する公共施設等総合管理計画に基づき、修正を行いつつ将来負担の平準化に寄与していく。</p> <p>以上のとおり、一定の目標を達成できたことから、達成度をBとした。</p>	B	妥当	<p>(委員2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の整理、保全の意識は職員に必要な観点である。次期プランでは初年度だけでも良いので、もう少し対象者を広げて研修を実施してほしい。</li> </ul>	伊藤・大久保
120	⑭	財務部	財政課	市債残高の縮減	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <p>各年度予算の編成にあたり、元金償還金を考慮しながら市債予算を組むことにより、残高の抑制に努めた。</p> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <p>計画期間終了時には、平成22年度末と比して269億円の起債残高の減を見込めることとなった。</p> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <p>平成27年度末現在高見込のうち26.5%にあたる433億円は、普通交付税の財源不足に対応するための臨時財政対策債であり、残高が逡増している。</p> <p>以上のとおり、計画期間において起債残高を逡減できたため、達成度をBとした。</p>	B	妥当	<p>(委員2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画における逡減は達成出来ていると考える。しかし、借金は借金なので「健全な」財政という観点からは財源不足による臨時財政対策債が逡増しているという課題コメントは気がかりである。</li> </ul>	伊藤・大久保
121	⑭	財務部	財政課	繰上償還（借換）の実施	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <p>補償金免除繰上償還の制度を積極的に活用しながら、高利な借入を低利で借り換えた。</p> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <p>高利な借入を低利で借り換えることにより、将来負担する借入利息を縮減することができた。</p> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <p>金利の低調により、現在は5年または10年の利率見直し方式で借入を行っているが、金利変動の先行きは不透明であり、今後とも当初借入時の金利において有利な選択を行っていく必要がある。</p> <p>また、国の主導が無ければ繰上償還による補償金等が生じるため、借換えについても慎重に判断していく必要がある。</p> <p>以上のとおり、平成24年度をもって国の定めた補償金免除の期間が終了することに伴い、補償金免除繰上償還を最大限活用し将来負担の軽減に努めることができたため、達成度をBとした。</p>	B	妥当		伊藤・大久保

No.	重点項目	部局(H27)	所管課(H27)	取組内容	5年間の総括	達成度	外部評価	外部評価コメント	外部評価者
122	⑮	総務部	行政課 人事課 情報企画課 選挙管理委員会	旅費などの執行経費の効率化と事業の見直し	【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】 旅費の見直し 互助会負担金の見直し 複合機の導入に伴うコスト削減 【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】 92,886,830円(見込) 【今後に向けた（次期プランへの）課題】 総務部による事業の見直しは、全庁に影響するものであり、今後も単に経費削減の視点だけではなく、職員の利便性の向上など、総合的な視点で見直しを図っていきたい。 以上のとおり、課題はあるものの、当初目標額に対し、120%を上回る成果が見込まれるため、達成度をAとした。	A	妥当	(委員2) ・120%を上回る成果が数字としてあるので、今期5年計画としてのA評価は妥当。しかし、同時に課題も認識しているので次期はより踏み込んだ計画を立てて下さい。	伊藤・大久保
123	⑮	総務部	情報企画課	情報システムの全体最適化の推進	【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】 全体最適化へ向け、ホストコンピュータ資産をオープン系資産へ移行させた。(H24:住基システム、国保・年金システム H26:福祉システム、H27:税総合システム) 平成25年度に情報システム調達ガイドラインの運用を開始し、ITガバナンスの推進を図った。 【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】 ITガバナンスの推進により一時経費の縮減を実施した。(福祉システム:172,472千円、税総合システム:19,375千円) 【今後に向けた（次期プランへの）課題】 目標に掲げた住民情報系システムの再構築を平成28年度までに実施する。 番号制度によるシステム改修で費用が増加(具体的な内容が決まっていないため)。今後、システム改修については、具体的な内容が決まり次第、その都度見積を取ることで費用を削減する。 以上のとおり、番号制度によるシステム改修による費用増加したものの、住民情報系システムの再構築が予定通り実施されているため、達成度をAとした。	A	妥当	(委員2) ・システムの最適化の観点からは予定通り実施されているので、効果を認める。しかし、改修費用が増加している面もあるので、胸を張ってのA評価は認めづらい。安価良質の道を引き続き模索されたい。	伊藤・大久保
124	⑮	財務部	資産経営課 市民税課 資産税課	公用車台数の見直しなど事業の見直し	目標:38,407千円 経済的効果額成果:28,564千円 【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】 ・公用車の稼働率を見直し計画的に車両台数の削減に努めた。 ・平成23年度に固定資産地理情報システム(GIS)を導入し、平成24年度からアルバイト雇用の見直しを図った。 ・申告会場においてe-TAX及び申告支援システムによる電子申告を導入した。 ・申告会場において税理士の従事日数を増やし電子申告を推進した。 【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】 ・車両台数を93台から86台(削減した台数は10台、寄附等で3台増加あり)へ削減したことで車検、点検等の維持費が約1,070万円削減された。 ・システム導入時の平成23年度人件費支出額(アルバイト賃金 2,438,208円)と比較すると、4年間で総額4,751,194円を削減することができた。 ・委託料の削減(国税連携)では目標額を達成できなかったが、通信運搬費の削減(eLTAX)では目標額を320万円ほど上回る成果をあげることができ、両者を合わせれば目標を達成した。 【今後に向けた（次期プランへの）課題】 ・共用車86台の内約30台が購入後12年経過のため、適切な維持管理及び車両の更新が必要である。 ・システムの整備により、人件費の削減は一定の効果をあげることができた。今後は、システムを継続的に活用して適正課税と税収の確保を更に推進させることが重要と考える。 ・申告会場以外の出張会場での紙による申告方法の効率化。 以上のとおり、一定の取組は進んだが目標を達成できなかったことから、達成度をDとした。	D		(委員1)妥当  (委員2)要検討 ・このシートは経費削減が目的である。公用車について、購入ではなく、リースも検討して割安に利用できるのであれば導入してもよいのではないだろうか。状態が良好なら12年を超えてのもう一段の更新も考えたい。人件費の削減は評価できるが27年度での減速は残念。E-taxの利用は全体的にはあまり進んでいないように思われる。利用拡大を推進することは必要である。	伊藤・大久保
125	⑮	財務部	契約検査課	公共工事の適正かつ効率的な執行管理と職員の技術力の向上	【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】 ・技術職員研修、施工業者講習会 ・総合評価落札方式の実施 【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】 公共工事の品質の確保に必要な、技術職員の技術力向上のため、技術職の階層別研修を継続的に行った。また、総合評価落札方式の実施により、より高い品質確保できる業者選定を行った。合わせて、施工業者への講習会も継続的に行い、工事の品質の向上に努め、工事成績平均点77~78点台を確保した。 【今後に向けた（次期プランへの）課題】 平成26年6月施行の公共工事の品質確保の促進に関する法律の改正により、発注者間における工事成績評定の標準化及びデータベースの整備が記述されているため、国・県・中核市等の動向を見ながらの対応が必要になってくる。新たな工事成績評定への移行やデータベース化の動きに合わせ、それらの活用をしながら更なる公共工事の品質向上に努めてゆく。 以上のとおり、取組み項目実施によって工事成績平均点のレベルを保ち品質を確保したため、達成度をBとした。	B	妥当		伊藤・大久保

No.	重点項目	部局(H27)	所管課(H27)	取組内容	5年間の総括	達成度	外部評価	外部評価コメント	外部評価者
126	⑮	企画部	政策企画課 広報広聴課 秘書課	広報活動経費の効率化など事業の見直し	【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】 ・ホームページを効率的なシステム（CMS）にリニューアルした ・市民意識調査の頻度の見直し、テレホンとよはしの見直し、施設見学会の廃止等 【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】 5年経過時点での達成額19,845千円 【今後に向けた（次期プランへの）課題】 ・広報とよはし、ホームページなど全ての広報媒体において時代にあわせた、効果的かつ効率的な情報提供をする必要がある 以上のとおり、5カ年の目標額未達が見込まれるため、達成度をDとした。	D	要検討	（委員2） ・5 記念品は廃止してはどうか。8 ホームページのリニューアルが管理運営費の縮減につながっているのか分かりづらいし、疑問に思う。	伊藤・大久保
127	⑮	企画部	政策企画課	大学連携補助金の適正化など補助金、負担金の見直し	【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】 他部局における類似事業の統合による大学連携調査研究費補助金の精査と効率的な交付 穂の国森づくりの会負担金の精査 【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】 大学連携調査研究費補助金の効率的な交付により毎年1,500千円以上を削減 穂の国森づくりの会負担金の廃止のより毎年175千円の削減 【今後に向けた（次期プランへの）課題】 補助対象とする研究の精査による効果の高い支援の実施 以上のとおり、効果目標を大きく上回る成果を上げたため、達成度をAとした。	A	妥当	（委員1） ・事業効果に見合った補助金、負担金とすべきである。なお、市にとって有益な調査研究は積極的に大学を活用した方が良いと思われる。	諏訪・村松
128	⑮	文化市民部	安全生活課 多文化共生・国際課	交通安全関係事業など事業の見直し	【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】 ・刑法犯認知件数が減少していることから、防犯パトロール事業委託内容を見直した（安全生活課） ・見直しを行うなかで、各種事業可能な限り経費の削減を実施した（多文化共生・国際課） 【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】 ・豊橋市内における平成23年の刑法犯認知件数4,788件から、平成27年に3,342件と30%以上減少していることから、防犯パトロール事業委託を段階的に見直した（安全生活課） ・各事業の経費削減に取り組み、新たな削減策も実施したが、当初目標とする数値に及ばなかった（多文化共生・国際課） 【今後に向けた（次期プランへの）課題】 ・犯罪発生状況や交通事故状況を見据えながら、柔軟に対応していく（安全生活課） ・事業の効率性と効果を見極めながら経費の削減を図っていく（多文化共生・国際課） 以上のとおり、計画未達成のため、達成度をDとした。	D	要検討	（委員1） ・各事業の目的と必要性を再認識した上で、手法の再検討が必要である。	諏訪・村松
129	⑮	文化市民部	安全生活課 多文化共生・国際課 市民協働推進課	防犯関係負担金など補助金、負担金 の見直し	【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】 ・負担金見直しや補助金の完了を行った（安全生活課） ・補助事業の見直しの中で、支出の削減に取り組んだ（多文化共生・国際課） 【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】 ・補助金、負担金の見直しにより1,400,300円の削減を行うことができた（安全生活課） ・関係機関・団体との連携を強化して、支出の削減をしながら事業の充実を図ることができた（多文化共生・国際課） 【今後に向けた（次期プランへの）課題】 ・防犯カメラ設置費補助金を26年度から開始しているが、補助対象者数の増加に対応するため予算の増額を行った。今後、設置希望を犯罪発生状況の確認の上進めていく（安全生活課） ・今後も各事業の見直しを図り、一層の削減に努めていきたい（多文化共生・国際課） ・地域団体に支出している補助金等の統合（35,000,000円）に向けて検討したが、多くの補助金等は目的が限定されていたり、必要とする地域が個別に申請するものであるため、統合が困難であるとの結論に達した（市民協働推進課） 以上のとおり、助成・補助金の削減に取り組み、想定する成果をあげているため、達成度をBとした。	B	妥当	（委員1） ・事業の目的と必要性を再認識する必要がある。  （委員2） ・地域の安全安心を考え、削減に取り組んで欲しい。	諏訪・村松
130	⑮	福祉部	福祉政策課 国保年金課 長寿介護課 障害福祉課	施設運営費の効率化など事業の見直し	【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】 災害時要援護支援事業の啓発方法をチラシ全世帯配布から広報誌掲載へ変更。国民健康保険事業特別会計繰出金の見直し。 【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】 国民健康保険事業特別会計繰出金の削減額 229,816,325円 【今後に向けた（次期プランへの）課題】 国民健康保険被保険者が負担する保険税への影響を十分に考慮して実施する必要がある。 以上のとおり、ほぼ目標額に達したため、達成度をBとした。	B	妥当	（委員1） ・各事業のレベルが必ずしも一定ではないので、一概に論じ得ないが、国保会計への繰り出し金の見直しは保険税すなわち市民生活に拘わるのでよく議論すべきである。	諏訪・村松

No.	重点項目	部局(H27)	所管課(H27)	取組内容	5年間の総括	達成度	外部評価	外部評価コメント	外部評価者
131-1	⑮	福祉部	福祉政策課 長寿介護課	各種団体等への補助金、負担金の見直し	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】 各種団体等への、補助金、負担金の見直しを実施した。</p> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】 各種団体等への、補助金、負担金の見直しにより、199,201,720円補助金が削減された。</p> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】 各種団体への補助金、負担金については効果、必要性を十分検討する。</p> <p>以上のとおり、達成額が目標額を上回ったため、達成度をAとした。</p>	A	妥当	<p>(委員1) 妥当 ・見直しの削減の目標額は達成したが、今後ともさらなる見直しが求められる。今後は各種団体等への補助・負担期間（年数）の期限を設定するなどの方策が必要と考える。</p> <p>(委員2) 妥当</p>	諏訪・村松
131-2	⑮	こども未来部	保育課	各種団体等への補助金、負担金の見直し	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】 人件費補助金積立率を60%から50%へ変更</p> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】 69,404,927円</p> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】 以上のとおり、目標額120%を上回る達成のため、達成度をAとした。</p>	A	要検討	<p>(委員1) ・今後は期限を設定するなどの方策が必要と考える。</p> <p>(委員2) ・人件費補助金積立率を10%見直して目標達成と判断することが理解し難い。</p>	諏訪・村松
132	⑮	健康部	健康政策課 健康増進課 こども保健課 食肉衛生検査所 こども発達センター	予防接種事業の効率的な実施など事業の見直し	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】 1 託児の廃止 2 予防接種単価の縮減 4～6 当初目標について、予定通り実施し、「元気ネット」や「親子健康塾」の廃止した。また外食店巡回頻度も2年から3年とした。 7 食肉検査は残留動物用薬品検査件数を維持しつつ検体の集合化や器具の再利用により効率化を図った。 8 と畜場検査はと畜場設置者による自主検査を推進し検査消耗品費の縮減を図った。 9 結核相談医師への謝礼見直し</p> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】 1 再就職支援の託児謝礼金数減 目標 250,000円 → 実績 261,680円 2 予防接種委託単価 目標 441,262,000円 → 実績 389,506,391円 3 地域医療確保の完了 目標 1,500,000円 → 実績 1,500,000円 4～6 目標 4,325,000円 → 実績 3,586,385円 7 食肉検査費用の縮減 目標 2,826,000円 → 実績 3,851,397円 8 と畜場検査費用の縮減 目標 500,000円 → 実績 311,306円 9 結核指導管理の謝礼 目標 900,000円 → 実績 2,132,000円 10 障害児等療育支援事業 目標 19,500,000円 → 実績 0円 計 目標 471,063,000円 → 実績 401,149,159円</p> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】 1、3、9 完了 2 数年ごとに見直しを検討し、医師会と協議を行っていく。 4～6 他の事業（項目）に係る見直しについて検討していく。 7、8 食肉検査は残留動物用薬品検査件数を増やししながらさらなる効率化を図る。</p> <p>以上のとおり、目標額に達しなかったものの、その他については計画通り実施したため、達成度をBとした。</p>	B	要検討	<p>(委員1) ・引き続きの努力が必要と考える。</p> <p>(委員2) ・目標設定の理解ができない。</p>	諏訪・村松
133	⑮	健康部	健康政策課 こども保健課	障害児自立支援医療給付事業など補助金、負担金の見直し	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】 1 公費負担非該当者への横出し補助を削減 2、5、6 制度の見直し検討 3、4 医療環境と社会的ニーズの変化及び従事者の減少による事業規模の縮小に伴い、関係機関と協議 7 補助金の完了</p> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】 1 障害児自立支援医療給付の市独自補助分（横出し補助分）の廃止 目標 5,000,000円 → 実績（見込） 5,000,000円 3 休日夜間診療対策推進費補助金の見直し 目標 3,592,000円 → 実績（見込） 460,000円 7 歯科衛生士再就職支援事業補助金の完了 目標 300,000円 → 実績（見込） 300,000円 2、4、5、6、8 目標 47,344,000円 → 実績（見込） 0円 計 目標 471,063,000円 → 実績（見込） 403,411,284円</p> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】 1、2、5、6 市民の負担増を伴う改善策については、いかに理解を得られるか、代替え措置なども含めプラン策定の段階からの検討が必要。 3、4 救急医療体制の維持の観点から、今後も関係機関と必要な協議は継続して行く。 7 完了</p> <p>以上のとおり、目標額を達成できなかったことから、達成度をDとした。</p>	D	妥当	<p>(委員1) ・引き続き地道な努力を。</p> <p>(委員2) ・課題の分析と今後の進め方が明確になっている。少しずつかもしれないが今後の効果に期待したい。</p>	諏訪・村松

No.	重点項目	部局(H27)	所管課(H27)	取組内容	5年間の総括	達成度	外部評価	外部評価コメント	外部評価者
134	⑮	環境部	環境政策課 環境保全課 業務課	ペットボトルの拠点収集の廃止など事業の見直し	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペットボトル回収委託の見直し、三河湾浄化フェア開催事業費の廃止、リサイクルステーションの運営方法の効率化、ISO14001の認証返上</li> <li>・ISO14001の認証から独自の環境マネジメントシステムに切り替えた。</li> </ul> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各事業の見直し、廃止により5年間の達成が98,785,485円となり目標額を達成した。</li> </ul> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・独自の環境マネジメントシステムの監査結果について、不適合項目がいくつか見られたので、職員の更なる意識向上が必要である。</li> </ul> <p>以上のとおり、以上のとおり、最終目標額を達成したので、達成度をBとした。</p>	B	妥当	<p>(委員1) 妥当</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境マネジメントシステムの監査結果で見られるように、職員の更なる意識向上が必要である。</li> </ul> <p>(委員2) 妥当</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・監査結果の不適合項目が気になる。</li> </ul>	諏訪・村松
135	⑮	環境部	温暖化対策推進室 廃棄物対策課	浄化槽設置費補助金など補助金、負担金の見直し	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 補助対象者を見直し補助金を削減するとともに、補助対象浄化槽を環境に配慮した型に見直すことにより、財源である国交付金の増額確保を図った。</li> <li>5 普及状況等をみながら補助単価を見直すとともに、ニーズにこたえて補助件数の増を図った。</li> </ol> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 補助対象者を見直しにより289,957,000円、国交付金の増額確保により5,963,000円削減効果があった。</li> <li>5 補助単価の見直しにより291,304,000円の削減効果があった。</li> </ol> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 環境に配慮した合併処理浄化槽の整備を一層促進することにより、国交付金の増額確保を継続する。</li> <li>5 国の補助制度の廃止や固定価格買取制度の見直しによる普及の鈍化が懸念されるため、補助単価の適正化に留意する必要がある。</li> </ol> <p>以上のとおり、補助単価の引き下げによる経費の縮減をする一方、市民ニーズにこたえて補助件数を増やす対応としたため、達成度をAとした。</p>	A	妥当	<p>(委員2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標設定と成果との関連は？補助件数を増したことは評価するが”A”の評価に疑問を持つ。</li> </ul>	諏訪・村松
136	⑮	産業部	産業政策課 商工業振興課 農業支援課	市民ふれあい農園の効率的な運営など事業の見直し	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・費用をかけない効果的な事業実施に努め、経費削減を図った。</li> <li>・市民ふれあい農園の運営において、民間に優位性のある維持的な管理業務について整理し、委託化を推進した。</li> </ul> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・8,044,132円</li> <li>・事業の実施において、効果的な見直しを図り、経費等の削減に努めながら、効率的に実施することができた。</li> <li>・市民ふれあい農園全園において管理業務を民間に委託し、効率的な運営を図ることができた。</li> </ul> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単にコスト削減を進めるのではなく、市民サービスの向上に主眼をおいた費用対効果の観点から事業の効率的な運営に努めていくことが必要である。</li> </ul> <p>以上のとおり、効果目標に達したため、達成度をAとした。</p>	A	妥当	<p>(委員1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経費削減のみでなく、それぞれの事業目的、役割を再確認して進めること。</li> </ul> <p>(委員2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標を立て、不成立もある中で”A”は疑問。</li> <li>&lt;例&gt;主な手法 不要な駐車場→交渉進まず無し</li> </ul>	諏訪・村松
137	⑮	産業部	産業政策課 商工業振興課 農業企画課	TMO支援事業など補助金、負担金の見直し	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちなか交流館事業補助金の廃止等、費用対効果の低い事業について見直しを図った。</li> </ul> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10事業について見直しを図り、48,592,000円の成果が出たが、効果目標の66,610,000円には達しなかった。</li> </ul> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き各事業について適宜費用対効果の検証を行い、時勢に見合っていないものについては見直しを図っていくことが必要である。</li> </ul> <p>以上のとおり、効果目標に達しなかったため、達成度をDとした。</p>	D	妥当	<p>(委員1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経費削減のみでなく、それぞれの事業目的、役割を再確認して進めること。</li> </ul> <p>(委員2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民との折衝もあり、市のイメージを与える組織として今後を見守りたい。</li> </ul>	諏訪・村松
138	⑮	建設部	土木管理課	道路台帳のデジタル化による効率化など事業の見直し	<p>従前の道路台帳は紙ベースのため、検索や集計になどの活用に制限がありましたが、道路台帳のデジタル化を行うことにより、レイヤーを都市計画図等と重ねることが可能となり、現況の把握が容易になったほか、様々なデジタル化された図面とのリンクが可能となり、情報の共有化が可能になった。</p> <p>また、道路台帳のデジタル化により、経年による台帳などの損傷がなくなり、資料の劣化・破損の防止など副次的な効果も得られ、さらに窓口業務において、図面探索時間の短縮が可能になったことで、市民サービスの向上を図ることができた一方で、システム導入直後ということもあり、システムを応用した内部事務の効果的な運用という面では課題もあるため、達成度をDとした。</p> <p>今後においては、災害時の業務に使える道路台帳のデータ作成を行っていきたい。</p>	D	妥当	<p>(委員1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路台帳等の整備の重要性和システム化に要する経費は別であることを再認識すること。</li> </ul> <p>(委員2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時間を要する取組と見ている。引き続きの取組として期待している。</li> </ul>	諏訪・村松

No.	重点項目	部局(H27)	所管課(H27)	取組内容	5年間の総括	達成度	外部評価	外部評価コメント	外部評価者
139	⑮	都市計画部	公園緑地課	苗ほ管理事業など事業の見直し	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元自治会などと協議し、苗ほ跡地活用を決定</li> <li>・苗ほ跡地を地域に密着した広場として整備</li> </ul> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <p>苗ほを地域に密着した広場として整備したことで、苗ほ管理事業の廃止による経費削減 3,465,000円</p> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・整備後の広場の具体的な活用方法の検討</li> <li>・地域住民が継続的に維持管理できるための支援体制の整備</li> </ul> <p>以上のとおり、苗ほ管理事業の廃止し、地域に密着した広場として整備できたため、達成度をBとした。</p>	B	妥当		諏訪・村松
140	⑮	都市計画部	都市交通課 公園緑地課 まちなか活性化課	豊橋みどりの協会補助金など補助金、負担金の見直し	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○バス運行対策補助金 交通事業者と連携したバス利用促進活動等の実施</li> <li>○地域公共交通利用促進事業費 実施内容の改善及び継続的実施、東三河市町村との連携（夏休み小学生50円バス実行委員会の設置）</li> <li>○豊橋みどりの協会補助金 花壇管理の一部を業者委託から直営管理に変更、南大清水苗ほの除草回数を削減（年2回→年1回）</li> <li>○イルミネーションフェスティバル補助金の見直し 豊橋駅周辺のイルミネーション関係団体との連携により事業費を削減した</li> </ul> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○バス運行対策費補助金 バス運行対策費補助金の削減額について、平成25年度は▲15,159,959円に達したものの交通事業者と連携した取り組みを継続して実施することで平成27年度には5,714,000円を削減することができた。</li> <li>○地域公共交通利用促進事業費 地域公共交通利用促進事業費の削減額について、目標には至っていないものの、事業費を抑制することができた。また、東三河の市町村と連携するなど取り組みの効果を高めることができた。</li> <li>○豊橋みどりの協会補助金が上記取組によって14,000,000円、削減できたが、動植物公園の指定管理の見直しにより人件費が増え、全体額は増加したが、動植物公園にそれ以上の効果があった。</li> <li>○イルミネーションフェスティバル補助金の見直し 事業規模の縮小により、補助金額を1,150,000円削減できた。</li> </ul> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○バス運行対策費補助金 交通事業者と連携して地元住民へのバス利用促進活動等を行っていく。</li> <li>○地域公共交通利用促進事業費 事業の効果が高いものを検討した上で、イベント等の内容を改善や東三河の市町村との連携により事業を継続していく。</li> <li>○豊橋みどりの協会補助金 補助金の削減を継続していくため、引き続き豊橋みどりの協会に花壇管理の一部を業者委託ではなく直営管理でやっていただく必要がある。</li> <li>○イルミネーションフェスティバル補助金の見直し 引き続き、他団体との連携や事業内容の見直しによる事業費の削減を進める。</li> </ul> <p>以上のとおり、目標値を達成していないため、達成度をDとした。</p>	D	要検討	<p>（委員1）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各事業内容の目的を再確認しながらすすめていくこと。</li> </ul> <p>（委員2）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化社会を迎え、バスサービスは不可欠と考えたい。補助金の質を考えると負担金はやむをえないのではないかと。</li> </ul>	諏訪・村松
141-1	⑮	防災危機管理課	防災危機管理課	防災無線等の維持管理経費の効率化など事業の見直し	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民向けメール配信システムを安全生活課のシステムへ統合することで運用コストの削減を図った。</li> <li>・防災無線の委託料見直し、市民向け防災講演会の開催回数見直し等を行い、経費の削減を図った。</li> </ul> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メールの統合7,332,750円、講演会の見直し2,377,720円、地域防災無線等委託料の見直し26,817,660円の合計36,528,130円の削減が図れた。</li> </ul> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メールの登録者数など、登録者増加により経費は増加するが、市民への緊急情報の伝達が強化される。今後、南海トラフ地震等の発生が危惧される中、防災・減災対策の実施は必須であり、経費の増大が見込まれるが、市民へのサービスを低下させることなくコストを抑え、効率的に事業が執行できるように検討を行う必要がある。</li> </ul> <p>以上のとおり、削減額は効果目標額に達していないため、達成度をDとした。</p>	D	妥当	<p>（委員1）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・削減額の努力をする一方で、事業の目的を常に確認しながらすすめていくこと。</li> </ul> <p>（委員2）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成果（数値）だけではない。努力されたことを評価したい。</li> </ul>	諏訪・村松
141-2	⑮	消防本部	(消)総務課 通信指令課	消防車両等の維持管理経費の効率化など事業の見直し	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <p>地域環境整備消火栓設置凍結、発信地表示保守点検廃止、吹鳴装置保守点検廃止、簡易AVMの取り外し、消防団の部統廃合、車両更新年の延長、小型動力ポンプ更新年の延長</p> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <p>108,590,777円</p> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <p>各事業において、財政状況や地域の実情を考慮し、市民サービスを低下することなく経費削減をすること。</p> <p>以上のとおり、目標以上の成果を達成したため、達成度をAとした。</p>	A	妥当	<p>（委員1）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・削減額の努力をする一方で、事業の目的を常に確認しながらすすめていくこと。</li> </ul> <p>（委員2）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・数字については納得した。</li> </ul>	諏訪・村松

No.	重点項目	部局(H27)	所管課(H27)	取組内容	5年間の総括	達成度	外部評価	外部評価コメント	外部評価者
142-1	⑮	防災危機管理課	防災危機管理課	自主防災組織の活動資機材等整備などの補助金、負担金の見直し	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自主防災組織活動資機材等整備費補助金の見直しによる補助金の廃止。</li> </ul> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助金の廃止により、26,997千円の削減となった。</li> </ul> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助金については、経費のみで評価するのではなく、補助金の使途による整備効果も含めて行う必要がある。</li> </ul> <p>以上のとおり、補助金廃止により防災危機管理課の目標額は達成したため、達成度をBとした。</p>	B	妥当	(委員1) ・事業の目的を常に確認しながらすすめること。	諏訪・村松
142-2	⑮	消防本部	予防課	街頭消火器補助事業など補助金、負担金の見直し	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>街頭消火器補助金の見直しを図り、街頭消火器設置費等補助制度の基準額の改定、概ね5年ごとの薬剤詰換補助金の廃止、新規設置の街頭消火器設置補助金の凍結を実施した。</li> </ul> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>最終目標額(8,410,000円)については、平成23年度から26年度の4年間で達成（累計10,022,000円）した。27年度においても同様に事業を継続したところ、5年で（累計12,912,700円）となりさらに最終目標額を上回った。</li> </ul> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新興住宅地の増加や南海トラフ地震の被害予測に基づく出火危険の高い地域が示されたことから、震災減災対策アクションプランの出火防止対策を推進するため、今後は街頭消火器の新規設置等整備が必要である。</li> </ul> <p>以上のとおり、目標額を大きく超える成果を達成するものとなるため、達成度をAとした。</p>	A	妥当	(委員1) ・この事業の重要性からみて、金額のみの見直しは如何か。目的を再確認しながらすすめること。	諏訪・村松
143-1	⑮	総合動植物公園部	自然史博物館	自然史博物館の維持管理経費の効率化など事業の見直し	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>照明設備のLED化、空調設備の計画的更新のほか、照明・空調機器等の電気設備等の徹底した節電の実施。</li> </ul> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>照明設備のLED化、徹底した節電に取り組んだものの、故障していた空調設備の更新、クールシェアスポット及びウォームシェアスポットの指定施設により4年間で、電気使用料は累計で2,000,000円を超える増加となった。</li> </ul> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>照明設備のLED化、故障している空調設備を更新しつつ、従来以上に、来客状況を的確に把握し、無駄な照明・空調機器等の電気設備の使用を控えるように努める。</li> </ul> <p>以上のとおり、目標を達成できないため、達成度をDとした。</p>	D	妥当	(委員1) ・経費削減はこれまでかなりされているでしょうから、これ以上の削減が困難なのであれば、取り組み項目を変更することも考えられます。  (委員2) ・必要な電気使用量の設定は省エネタイプ等の機器に更新されるとか、検討される必要があるのでは	世羅・富田
143-2	⑮	教育部	美術博物館 保健給食課	学校給食配送車の維持管理経費の効率化など事業の見直し	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校給食の配送車の使用年数を延長し、指名競争入札を導入した。</li> <li>・二川宿史料集刊行数を削減。</li> </ul> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・残り一年度を残しているが、学校給食配送車の維持管理経費の効率化については、目標を達成する見込みである。</li> <li>・二川宿史料集刊行経費の削減。</li> </ul> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校給食の安定した運営に配慮しつつ、効率化に努めたい。</li> <li>・二川宿史料集の刊行形態を電子媒体等への変更を検討する。</li> </ul> <p>以上のとおり、計画を超える経費削減を達成したため、達成度をAとした。</p>	A	妥当	(委員1) ・経費削減の余地を十分に検討して、次のプランの取り組み項目にするか否か検討する必要があります。	世羅・富田
144	⑮	教育部	学校教育課 生涯学習課	小中学校の補助金など、補助金、負担金の見直し	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委嘱校における研究活動の実態を踏まえ、適正な補助額に変更</li> <li>・2つのイベントを同時に開催</li> </ul> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委嘱校の活動実態やイベントの開催方法について検証し補助額を変更することで、重複する補助金を削減することができた。</li> </ul> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究委嘱校の研究成果を委嘱校だけのものではなく、各学校へ還元し、より質の高い教育につなげていく。</li> </ul> <p>以上のとおり、補助金の削減を効果的に実現できたため、達成度をBとした。</p>	B	妥当	(委員1) ・これ以上の補助の見直しができるか否かを検討して、次のプランの取り組み項目にするか検討してください。	世羅・富田

No.	重点項目	部局(H27)	所管課(H27)	取組内容	5年間の総括	達成度	外部評価	外部評価コメント	外部評価者
145	⑩	市民病院	管理課	医療スタッフの確保 ○優秀な人材の育成 ○医療スタッフの処遇改善、負担軽減 ○専門スタッフの確保	第2次豊橋市民病院改革プラン（H26～30年度）の策定に伴い、行財政改革プランの評価シートについてもH26年度より重点目標・取組項目を改めている。よって、計画期間の違いにより5年間の総括はできないため、H26・27年度の取組と成果を示すとともに、今後に向けた課題については、第2次豊橋市民病院改革プランに掲げる基本方針と施策目標を記載する。 【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】 1.優秀な人材の育成 2.医療スタッフの処遇改善、負担軽減 3.専門スタッフの確保 【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】 ○定数管理（目標） H27 1,157人、実人員 1,126人（H27年4月1日現在） ○定数管理（目標） H28 1,159人、実人員 1,151人（H28年4月1日現在） 【今後に向けた（次期プランへの）課題】 ○基本方針「東三河の地域医療を支える中核病院～患者にやさしく、質の高い医療を目指して～」 ○施策目標「医療スタッフの確保」 診療体制を強化するため、医療スタッフを確保・充実し、安全安心で質の高い医療を提供する。 以上のとおり、医療スタッフ確保のため、様々な取組の実施により、一定の水準は確保されていると考えられるため、達成度はBとする。	B	妥当	（委員1） ・社会的に特に問題となっている事項ですので、しっかりと取り組んでいただきたいと思います。	世羅・富田
146	⑩	市民病院	管理課 医事課	高度専門医療の充実 ○がん拠点病院の機能充実 ○患者にやさしい治療の推進 ○救急医療の充実 ○周産期医療の充実	第2次豊橋市民病院改革プラン（H26～30年度）の策定に伴い、行財政改革プランの評価シートについてもH26年度より重点目標・取組項目を改めている。よって、計画期間の違いにより5年間の総括はできないため、H26・27年度の取組と成果を示すとともに、今後に向けた課題については、第2次豊橋市民病院改革プランに掲げる基本方針と施策目標を記載する。 【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】 1.がん拠点病院の機能充実 2.患者にやさしい治療の推進 3.救急医療の充実 4.周産期医療の充実 【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】 ・H26手術件数8,113件 内：内視鏡手術件数1,206件 ・H26分娩件数 958件 内：帝王切開分娩件数 413件 ・H26救急からの入院患者数5,695件 ・H27手術件数8,179件 内：内視鏡手術件数1,288件 ・H27分娩件数 1,000件 内：帝王切開分娩件数 433件 ・H27救急からの入院患者数6,130件 【今後に向けた（次期プランへの）課題】 ○基本方針「東三河の地域医療を支える中核病院～患者にやさしく、質の高い医療を目指して～」 ○施策目標「高度専門医療の充実」 地域がん診療連携拠点病院として、放射線治療施設等を整備し、がん治療体制の充実を図るとともに、東三河の中核病院として一般医療のほか、救急・周産期・高度専門医療を提供する。 以上のとおり、概ね予定どおり、高度専門医療の充実が図れたことから、達成度はBとする。	B	妥当	（委員1） ・このような取り組みに関しては、患者数というものを目標数とすることは適当でないと考えます。患者数をコントロールすることはできないので、受け入れ体制がこれだけある、というような目標設定をされたほうが良いと考えます。	世羅・富田
147	⑩	市民病院	医事課 医療情報課	地域連携の推進 ○地域の医療機関との連携強化 ○地域医療連携ネットワークシステムの構築	第2次豊橋市民病院改革プラン（H26～30年度）の策定に伴い、行財政改革プランの評価シートについてもH26年度より重点目標・取組項目を改めている。よって、計画期間の違いにより5年間の総括はできないため、H26・27年度の取組と成果を示すとともに、今後に向けた課題については、第2次豊橋市民病院改革プランに掲げる基本方針と施策目標を記載する。 【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】 1.地域の医療機関との連携強化 2.地域医療連携ネットワークシステムの構築 【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】 ○H26紹介率：62.5% ○H26逆紹介率：82.1% ○H27紹介率：65.0% ○H27逆紹介率：83.5% 【今後に向けた（次期プランへの）課題】 ○基本方針「東三河の地域医療を支える中核病院～患者にやさしく、質の高い医療を目指して～」 ○施策目標「地域連携の推進」 患者が安心して地域で総合的かつ継続的に治療・診療が受けられるよう、地域の医療機関等との連携を推進する。 以上のとおり、目標値を超える紹介率・逆紹介率の向上が図れたため、達成度はAとする。	A	妥当	（委員1） ・特にありません。	世羅・富田

No.	重点項目	部局(H27)	所管課(H27)	取組内容	5年間の総括	達成度	外部評価	外部評価コメント	外部評価者
148	⑩	市民病院	管理課	災害対応の強化 ○災害に強い施設の構築 ○災害用備蓄品の整備 ○定期的な災害対応訓練の実施	第2次豊橋市民病院改革プラン（H26～30年度）の策定に伴い、行財政改革プランの評価シートについてもH26年度より重点目標・取組項目を改めている。よって、計画期間の違いにより5年間の総括はできないため、H26・27年度の取組と成果を示すとともに、今後に向けた課題については、第2次豊橋市民病院改革プランに掲げる基本方針と施策目標を記載する。 【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】 1.災害に強い施設の構築 2.災害用備蓄品の整備 3.定期的な災害対応訓練の実施 【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】 1.特別高圧受変電設備の設置、非常用発電設備の更新・増設（H26～28年度）に着手、予定通りの進捗で施工 2.非常食の備蓄計画に基づく拡充の完了及び更新 3.災害対応訓練の実施 【今後に向けた（次期プランへの）課題】 ○基本方針「東三河の地域医療を支える中核病院～患者にやさしく、質の高い医療を目指して～」 ○施策目標「災害対応の強化」 災害発生時における災害拠点病院としての機能を強化するため、施設・設備の耐震化を図るなど、災害医療提供体制を強化する。 以上のとおり、概ね予定どおり、災害拠点病院としての機能強化が図れているため、達成度はBとする。	B	妥当	(委員1) ・特にありません。	世羅・富田
149	⑩	市民病院	管理課 医事課 医療情報課	効率的・効果的な病院運営の推進 ○ベンチマーク分析の活用等による経費の節減 ○環境負荷逓減への取組 ○未収金対策 ○診療データの活用 ○適正な施設運用	第2次豊橋市民病院改革プラン（H26～30年度）の策定に伴い、行財政改革プランの評価シートについてもH26年度より重点目標・取組項目を改めている。よって、計画期間の違いにより5年間の総括はできないため、H26・27年度の取組と成果を示すとともに、今後に向けた課題については、第2次豊橋市民病院改革プランに掲げる基本方針と施策目標を記載する。 【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】 1.ベンチマーク分析の活用等による経費の節減 2.環境負荷逓減への取組 3.未収金対策 4.診療データの活用 5.適正な施設運用 【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】 ○H26経常収支比率106.2% ○H27経常収支比率105.3% 【今後に向けた（次期プランへの）課題】 ○基本方針「東三河の地域医療を支える中核病院～患者にやさしく、質の高い医療を目指して～」 ○施策目標「効率的・効果的な病院運営の推進」 収入の確保や経費の節減、診療情報活用により、効率的な病院運営を推進し、健全経営に努める。 以上のとおり、目標値を超える経常収支比率であるため、達成度はAとする。	A	妥当	(委員1) ・特にありません。	世羅・富田
151	⑩	上下水道局	浄水課 下水道施設課	環境への配慮 ○省エネルギーの推進 ○資源の有効活用	【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】 ・北部配水場及び南栄給水所の老朽化設備更新に併せ、高効率機器の導入を行った。また、遠隔制御により維持管理を容易にすることができた。 ・休止水源の導入を行った。（南栄第8水源） ・水道施設の改良に併せ、シンプルで維持管理が容易な機器の導入ができた。 ・バイオマス利活用施設の事業化を推進した。 【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】 ・休止水源であった、南栄給水所第8水源の導入および新規水源の開発により自己水源の確保をすることができた。 ・高効率機器の導入により省エネルギー化が実現した。 ・未利用エネルギーの活用としてバイオマス利活用施設の事業化が決定し受注者と契約した。 【今後に向けた（次期プランへの）課題】 ・第4受水点（東部配水場）築造時に施設の効率的配水や高効率機器、省エネ制御の導入。 ・貴重な地下水源の涵養抑制を行いながら、安定給水の確保。 ・老朽化した設備を省エネ効率の高い機器へ更新することにより消費電力の削減を行っていく。 以上のとおり、計画通り事業が進捗できたため、達成度をBとした。	B	妥当	(委員1) ・数値的な目標がもう少しあれば、よりわかりやすいと思います。	世羅・富田
152	⑩	上下水道局	給排水課	広報広聴活動の推進 ○お客さまニーズの把握 ○広報活動の推進 ○貯水槽水道の適正管理	【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】 ・ホームページの充実 ・アンケートの実施 ・出前講座、イベントの実施 【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】 ・アンケートの実施 3, 072件 ・出前講座 水道236校 下水道236校 ・貯水槽水道の現地調査 1, 191件 【今後に向けた（次期プランへの）課題】 行財政改革プランの5年間の進捗が目標どおりに進んだため、今後も多角的に広報広聴活動の推進を進める。 以上のとおり、広報広聴活動が推進できたため、達成度をBとした。	B	妥当	(委員1) ・アンケートを実施されているので、その結果を集計分析した結果などで満足度を図ることは困難でしょうか？  (委員2) ・地道な広報活動が評価できます。	世羅・富田

No.	重点項目	部局(H27)	所管課(H27)	取組内容	5年間の総括	達成度	外部評価	外部評価コメント	外部評価者
153	⑩	上下水道局	給排水課	下水道の普及促進 ○水洗化率の向上 ○浄化槽の雨水貯留施設転用の推進	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】 水洗化率の向上のため、全体で年間1,000件を超える接続要請訪問を勤務時間内と夜間に行い、下水道の接続要請及び、補助制度等のPRを行うとともに、地元のイベントである梅田川ふれあいクリーン作戦に参加をして、環境面から下水道への接続の必要性をPRした。そのほか、平成24年度～26年度に下水道の拡張する大岩・二川地区の梅田川南部方面を水洗化向上モデル地区事業として看板設置、チラシ配布、回覧板作成、相談所設置、下水道接続説明会、9/10「下水道の日」に合せ前後5日間を広報車による街宣啓発事業、二川南小学校区運動会での下水道事業PR看板設置等を行なった。</p> <p>【5年間の成果】 水洗化率においては大岩・二川地区地区の梅田川北部方面では75.3%から86.8%へ11.5ポイントの上昇を図り、大岩・二川地区の梅田川南部方面では、34.3%から73.3%へ39.0ポイントの上昇を図るなど、下水道事業への理解と、下水道利用の促進について、計画を上回る成果があった。</p> <p>【今後に向けた課題】 第8次拡張事業中であったこの5年間は、事業進捗とともに一定の接続数が見込めたが、第8次拡張事業が終了する28年度以降から次期拡張事業の開始までは今までの拡張事業で下水道は整備されたが、その利用に至っていない何らかの原因を抱えた世帯への接続要請が中心となると思われる。各補助制度の一定の利用者はいるが、未だそういった下水道未接続者の困難案件等の根本的な解決には至っていない。きめ細やかな接続要請を進めるとともに、困難要件を聞き取るなかで、新たな要請活動を検討しつつ今後の接続率向上を進める。以上のことから達成度はB評価とした。</p>	B	妥当		世羅・富田
154	⑩	上下水道局	料金課 給排水課	お客さまサービスの充実 ○給水申込窓口業務の充実 ○料金窓口業務の充実	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】 ・上下水道地理情報システム開発業務を行った。 ・インターネットによる水道の使用開始中止受付を行うことで、使用者の利便性の確保や電話受付業務の軽減により業務を効率化するとともにサービスの向上を図った。 ・電算システム改修を含んだ包括外部委託を行ったことで、システム改修及び業務の費用対効果を図るとともに、電話受付の迅速化により、サービスの向上に努めた。</p> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】 ・インターネット申請による処理件数は、計画前の平成22年度実績より約2倍に伸びており、サービス向上に貢献できた。 ・平成24年度より事務の見直し、平成25年度より電算システム改修を含んだ包括外部委託を行ったことで費用対効果は、平成27年度までで約2億4千万円削減できた。 ・電話受付業務の包括外部委託化により、ノウハウを持った受託者が対応することで、電話受付時間が、約0.8分短縮できた。</p> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】 ・次期包括外部委託の更新に向けて更なる経費削減、サービスの向上を目指す。 以上のとおり、お客様サービス向上について計画を達成できたため、達成度をBとした。</p>	B	妥当	(委員1) ・引き続き、満足度向上に取り組んでいただければと思いますが、満足度を指標にできればなおわかりやすいです。	世羅・富田
155	⑩	上下水道局	(上) 総務課	組織の効率化と人材育成 ○効率的な業務執行体制の確立 ○技術の継承と職員研修の充実	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】 収納業務包括外部委託を行うなど業務執行体制の見直しを行なった。 外部研修機関の活用による研修体制の充実。</p> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】 民間活力の導入を推進し、収納業務の包括業務委託化により効率的な業務執行体制を確立することができた。 外部研修等に参加した際には研修報告書を供覧することで、研修参加者のみならず職場全体で知識を共有し、資質向上を図ることができた。</p> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】 効率的な執行体制とするため、機構の見直しを含めさらに取り組んでいく。 外部研修の活用には費用負担が生じるため、コスト意識をもって研修参加に努めていく。 以上のとおり、目標以上の成果が得られたため、達成度をAとした。</p>	A	妥当	(委員1) ・包括委託の影響について留意して、目標設定を行っていただければと思います。	世羅・富田

No.	重点項目	部局(H27)	所管課(H27)	取組内容	5年間の総括	達成度	外部評価	外部評価コメント	外部評価者
156	⑩	上下水道局	(上下)総務課 料金課	経営基盤の確立 ○財務基盤の強化 ○水道料金及び下水道使用料収入の確保 ○資産の有効活用	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補償金免除繰上償還（低利債への借換）を実施し、企業債利息の削減を図った。</li> <li>・事業内容の精査により市債発行額を抑制し、市債残高の軽減を図った。</li> <li>・口座振替普及のため、電話受付時の口座振替推奨や停水予告書に口座振替を促す文書等を同封して送付する等対応を試みた。</li> <li>・未利用地について、利用希望調査を行った。</li> </ul> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補償金免除繰上償還（低利債への借換）を実施し、企業債利息の削減を図った。</li> <li>・建設改良事業の増減はあったが、市債残高をH22年度比で307,397,072円減額（見込）することができた。</li> <li>・コンビニ利用件数が増加しており、その反面、口座振替件数が減少してしまった。（コンビニ利用件数：平成23年度170,083件→平成27年度199,724件（見込））</li> <li>・未利用地を2件売却した。（売却額6,893,612円）</li> </ul> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標達成に向けて、引き続き経費の節減、収入の確保を図っていく。</li> <li>・今後も建設改良事業が見込まれるが、効率的な事業の推進により市債の発行を抑制し、市債残高の軽減に努める必要がある。</li> <li>・利便性の高いコンビニ支払いが増加するなかで、より効果的な口座振替促進対策を行い、口座普及率を高め、経費削減、収納率の向上を図る必要がある。</li> <li>・引き続き、未利用地の活用について検討を行っていく。</li> </ul> <p>以上のとおり、財政収支計画の達成ができたため、達成度をBとした。</p>	B	妥当	(委員1) ・総務省でも公営企業に関する経営戦略の策定を強く言われていることから、新たに設定された指標なども勘案しながら、今後の維持更新に耐えられるようにしなければなりません。そのような観点を取り組み目標に入れていただければと思います。	世羅・富田
157	⑪	総務部	行政課	改革の取組に関し外部視点を導入したオープンな形の検証実施	<p>【5年間の成果】</p> <p>評価実施要領を作成し、内部評価→外部検証委員会による書類評価→公開プレゼンテーションを通じて、多角的な検証と見直し・改善を実施するというPDCAサイクルを構築することができた。また、公開プレゼンテーションを通じて広く市民に行革の取組を伝えることができた。</p> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <p>行財政改革プランの進捗管理に注力するあまり、他のシステム（行政評価、予算・決算）との連携において非効率な面が生じてしまった。今後は行財政マネジメントの構築という視点で制度設計をする。</p> <p>以上のとおり、多角的な検証を実施できたことから、達成度をBとした。</p>	B	妥当	(委員1) ・委員会のなかで議論できればと思います。	世羅・富田
158	⑫	財務部	財政課	わかりやすい財政状況、財務諸表の公表	<p>【主な取組（目標を達成するために取り組んだこと）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成23年度より補正予算説明書等のホームページへの公開</li> <li>・平成25年度より「予算の見どころ」の作成</li> </ul> <p>【5年間の成果（可能な限り客観的な数値を記入）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・じょうほうひろばでの予算説明書の頒布に加えて補正予算説明書等をホームページにて公開したことにより、市民だけでなく市外の方に対しても広く豊橋市の予算公表、財政公表を行うことができた。また、従来の文書に加えて、市民に対して予算の内容を写真・イラストをまじえながら事業の概要を分かりやすく伝えることのできる「予算の見どころ」を作成したことにより情報発信の手段が拡大した。</li> </ul> <p>【今後に向けた（次期プランへの）課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門的な用語の使用を控え、誰でも理解しやすいようなレイアウトや表現を検討するなど、さらに市民目線に立った資料作成に努める。</li> </ul> <p>以上のとおり、わかりやすい財政公表について目標を達成することができたため、達成度をBとした。</p>	B	妥当	(委員1) ・予算決算を報告すべき議員さんからの意見を徴収しながら、取り組み内容や取り組み目標を設定することも考えられます。	世羅・富田